The essentials of imaging

bizhub C35

ファクスユーザーズガイド

はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。bizhub C35 は、Windows、Macintosh、Linux の環境でお使いいただくのに最適なプリンター複合機です。

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。

Windows、Windows NT、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Ethernet（イーサネット）は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

IEEE は、The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

NTT は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

ナンバーディスプレイは、東日本電信電話株式会社 および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本機に添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。

7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アース（接地）接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 ● アース（接地）接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

2 次電池（充電式リチウム電池）について

本機では、2 次電池は一切使用しておりません。

印刷されたものの保存について

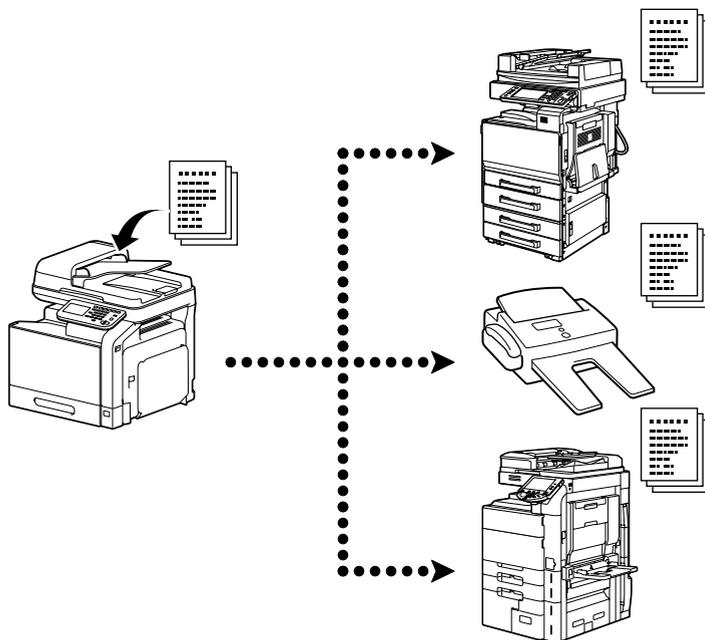
- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

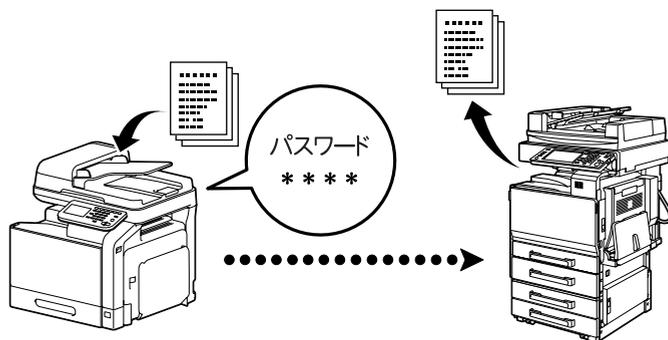
もくじ

1 はじめに

こんな機能があります

同報送信

同じ原稿を複数の宛先に一度の操作で送信できます。

詳しくは、「複数の宛先に一度に送信する（同報送信）」（p.92）をごらんください。

タイマー送信

読込んだ原稿をメモリーに保存しておき、指定した時刻に送信できます。

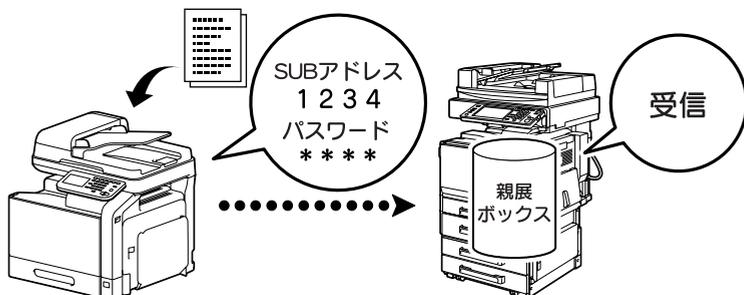
詳しくは、「[タイマー通信]」（p.87）をごらんください。

パスワード送信／閉域受信

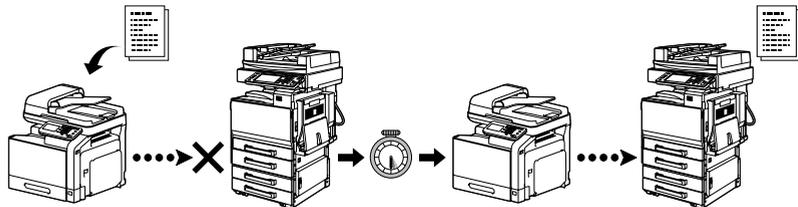
通信相手をパスワードによって限定できます。送信側と受信側に設定されているパスワードを照合し、双方のパスワードが一致した場合だけ通信が行われます。

詳しくは、「[パスワード送信]」（p.87）および「閉域受信（G3 ファクス）」（p.108）をごらんください。

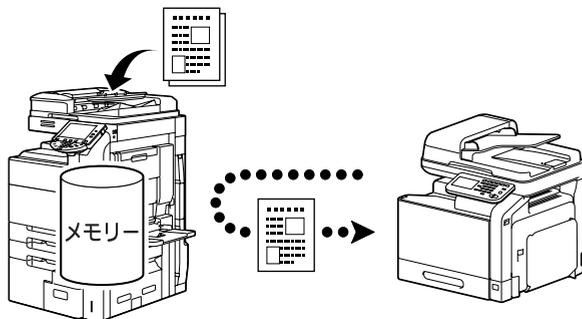
F コード送信

F コードに対応した相手先の特定のボックスに送信できます。親展ボックスと中継ボックスへの送信に対応しています。

詳しくは、「[F コード送信]」（p.88）をごらんください。

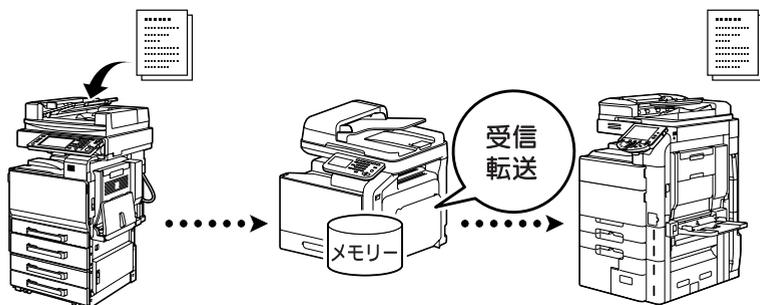
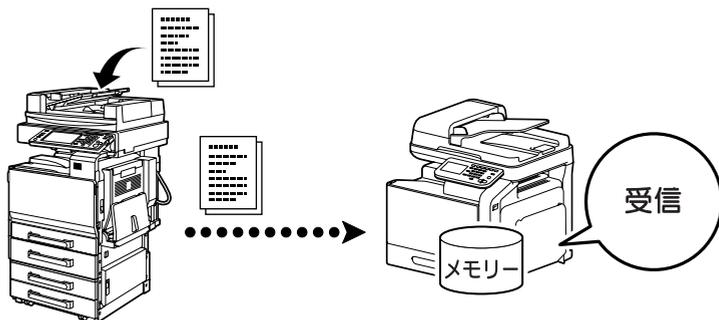
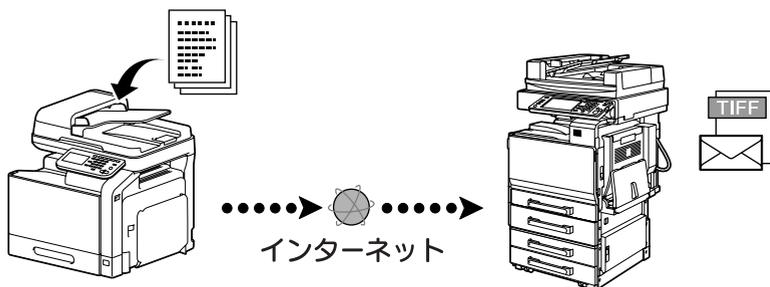
オートリダイアル

通話中や通信エラーなどでファクスが正常に送信されなかった場合は、所定時間経過後に自動的にリダイアル（再送信）されます。

詳しくは、「自動的にリダイアルする（G3 ファクス）」（p.96）をごらんください。

ポーリング受信

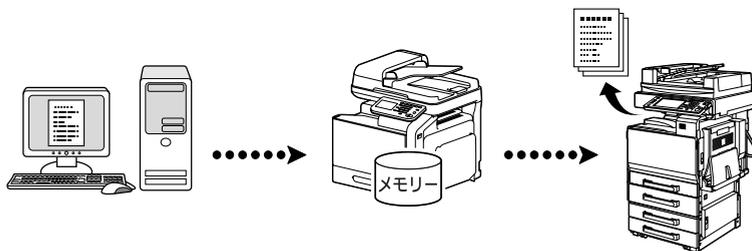
相手先に蓄積されている原稿を、本機からの操作によって送信させることができます。

詳しくは、「ポーリング受信（G3 ファクス）」（p.106）をごらんください。

強制メモリ受信

受信文書を直接印刷せずに、パスワードで保護された本機のメモリーに強制的に保存できます。

メモリーから必要な文書だけを印刷することで、セキュリティーを強化し、印刷コストを削減できます。

詳しくは、「強制メモリ受信（G3 ファクス／インターネットファクス）」（p.107）をごらんください。

転送ファクス

受信文書をあらかじめ指定した宛先（ファクス機、E-mail 宛先）に自動転送できます。

詳しくは、「転送ファクス（G3 ファクス／インターネットファクス）」（p.108）をごらんください。

インターネットファクス

インターネットと E-mail の送受信環境があれば、電話回線を使用せずにインターネット経由でファクスを送受信できます。

詳しくは、「ファクスを送信する」（p.73）および「ファクスを受信する」（p.99）をごらんください。

PC ファクス

ファクスドライバーを使用して、コンピューターからファクスを直接送信できます。

詳しくは、「PC ファクスを送受信する」（p.115）をごらんください。

各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面

1 操作パネル

2 自動原稿送り装置（ADF）
 2-a ADF カバー
 2-b ガイド板
 2-c 原稿給紙トレイ
 2-d 原稿排紙トレイ
 2-e 原稿ストッパー

リーガルサイズの原稿をADF で読み込む場合、原稿ストッパーを倒します。

3 USB ホストポート

4 トレイ 1（手差しトレイ）

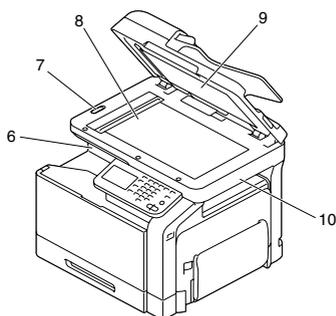
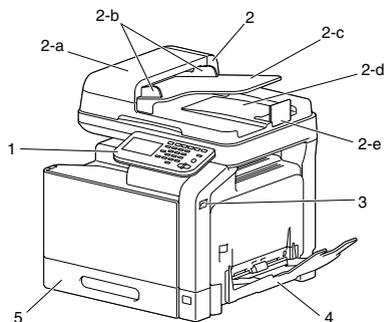
5 トレイ 2

6 排紙トレイ

7 スキャナーロックレバー

8 原稿ガラス

9 原稿カバーパッド

10 スキャナーユニット

背面

1 電源スイッチ

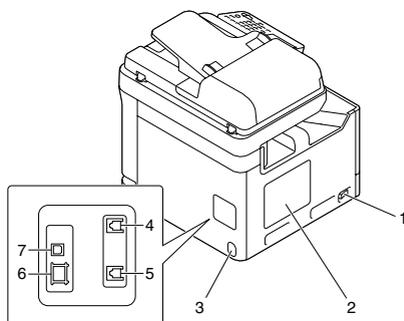
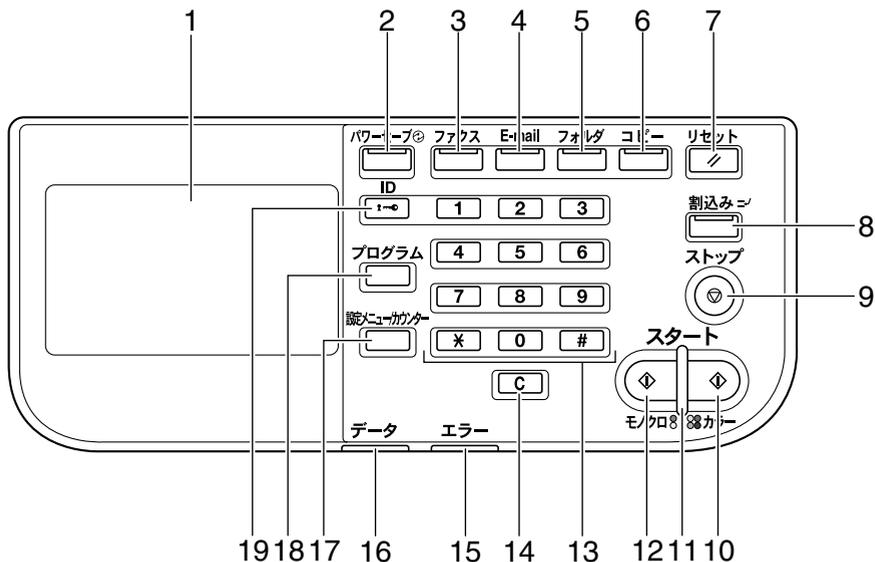
2 背面ドア

3 電源インレット

4 回線コネクター（LINE）

5 外付け電話機接続用コネクター（TEL）

6 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T (IEEE 802.3) イーサネットインターフェースポート

7 USB ポート

操作パネルについて

No.	名称	説明
1	タッチパネル	設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルを直接タッチして操作することができます。
2	［パワーセーブ］キー／ランプ	スリープモードに切換わります。 スリープモード時はランプが緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。 スリープモード時に［パワーセーブ］キーを押すと、スリープモードは解除されます。
3	［ファクス］キー／ランプ	ファクスモードに切換わります。 ファクスモード時はランプが緑色に点灯します。
4	［E-mail］キー／ランプ	E-mail 送信モードに切換わります。 E-mail 送信モード時はランプが緑色に点灯します。

No.	名称	説明
5	［フォルダ］キー／ランプ	ファイル送信モードに切換わります。 ファイル送信モード時はランプが緑色に点灯します。
6	［コピー］キー／ランプ	コピーモードに切換わります。 コピーモード時はランプが緑色に点灯します。
7	［リセット］キー	表示中のモードの設定（登録した設定は除く）を初期状態にします。
8	［割込み］キー／ランプ	割込みモードに切換わります。 割込みモード時はランプが緑色に点灯します。 割込みモード時に［割込み］キーを押すと、割込みモードは解除されます。
9	［ストップ］キー	動作中のコピー、スキャン、印刷を一時停止します。
10	［スタート（カラー）］キー	カラーコピー、カラースキャン、ファクス（モノクロ）を開始します。 また、停止中のスキャンや印刷を再開します。
11	［スタート］ランプ	コピー、スキャン、ファクスを開始できるときは、青色に点灯します。 コピー、スキャン、ファクスを開始できないときは、オレンジ色に点灯します。
12	［スタート（モノクロ）］キー	モノクロコピー、モノクロスキャン、ファクスを開始します。 また、停止中のスキャンや印刷を再開します。
13	テンキー	コピー部数、ファクス番号、E-mail アドレス、名前などを入力します。 また、設定画面で数値を入力します。
14	［C］（クリア）キー	入力した数値や文字列を取り消します。
15	［エラー］ランプ	エラー発生時はオレンジ色に点滅します。 サービス実施店への連絡が必要なエラー発生時は、オレンジ色に点灯します。

No.	名称	説明
16	［データ］ランプ	印刷ジョブの受信中は青色に点滅します。 印刷時、または印刷待ちのときは青色に点灯します。
17	［設定メニュー / カウンター］キー	［設定メニュー］画面に切換わります。 ［設定メニュー］画面では、［ユニバーサル設定］、［セールスカウンター］、［宛先登録］、［ユーザー設定］、［管理者設定］の各設定や確認ができます。
18	［プログラム］キー	コピー、ファクス、スキャンの設定をプログラムに登録します。 また、登録されているプログラムを呼び出します。
19	［ID］キー	ユーザー認証や部門認証を行っている場合に、認証を実施してログインします。 また、ログイン状態からログアウトし、認証画面に戻ります。

タッチパネルについて

ホーム画面

No.	名称	説明
1	ステータス	操作状況に応じてメッセージが表示されます。
2	[ファクス]	ファクスモードに切換わります。
3	[E-mail 送信]	E-mail 送信モードに切換わります。 詳しくは、[プリンター / コピー / スキャナー ユーザーズガイド] をごらんください。
4	[ファイル送信]	ファイル送信モードに切換わります。 詳しくは、[プリンター / コピー / スキャナー ユーザーズガイド] をごらんください。
5	[コピー]	コピーモードに切換わります。 詳しくは、[プリンター / コピー / スキャナー ユーザーズガイド] をごらんください。
6	日時表示	現在の日付と時刻が表示されます。

No.	名称	説明
7	［USB/HDD］	本機のハードディスク内のデータや、外部メモリー内のデータを印刷します。 詳しくは、［プリンター / コピー / スキャナー ユーザーズガイド］をごらんください。
8	［状態］	消耗品や本機の情報が表示されます。
9	［ジョブ］	印刷、送信、受信、保存の各ジョブの状況と履歴が表示されます。
10	トナー残量表示	イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各色のトナー残量が表示されます。

ファクスモードの初期画面

No.	名称	説明
1	[常用]	常用（よく使う宛先）に設定されている登録宛先を指定します。
2	[直接入力]	直接入力して宛先を指定します。
3	[拡張]	送信履歴から宛先を指定します。 また、本機のメモリーに保存されている文書を印刷または削除します。
4	[オフフック]	G3 ファクスを手動操作により送受信します。
5	[設定内容]	指定した宛先と、ファクス設定の内容を確認します。
6	[設定]	ファクスの送受信に関する設定をします。
7		ホーム画面に戻ります。

タッチパネルに表示されるアイコン

アイコン	説明
↓ ↑	画面が複数ページある場合、ページを切換えます。 ［↑］と［↓］の間の数値は、画面の「現在のページ数／総ページ数」を示しています。
← →	複数のタブがある場合、タブの表示を切換えます。
◀ ▶	設定値を増減します。
＋ －	設定値を増減します。
⚠	エラー発生時に表示されます。アイコンを押すと、エラー画面が表示されます。
?	表示中の機能や設定のヘルプが表示されます。
	本機に登録されている宛先が表示されます。短縮宛先やグループ宛先を指定できます。
	コピー動作中に表示されます。
	原稿の読込み動作中に表示されます。
	印刷動作中に表示されます。
	G3 ファクス回線の使用中に表示されます。

アイコン	説明
	タイマー送信機能により送信予約したジョブがあるときに表示されます。
	強制メモリ受信機能や PC ファクス受信機能により本機のメモリーに保存された文書があるときに表示されます。
	本機から送信しているときに表示されます。
	本機が受信しているときに表示されます。
	セキュリティー強化モードが設定されているときに表示されます。
	外部メモリーが接続されているときに表示されます。

ユーザー認証と部門認証

本機でユーザー認証や部門認証が設定されている場合、本機の機能を使用するためには、ユーザー名、部門名、パスワードを指定して認証を行う必要があります。

ユーザー認証や部門認証はPageScope Web Connectionから設定します。詳しくは、［リファレンスガイド］をごらんください。

ユーザー認証の場合

本体装置認証

1 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。
   – ［ユーザー名］は直接入力またはユーザー一覧から指定します。

2 ［ログイン］を押します。
   認証に成功すると、本機の機能を使用できるようになります。

外部サーバー認証

1 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力します。
   – ［ユーザー名］は直接入力またはユーザー一覧から指定します。

2 ［サーバー］を指定します。

3 ［ログイン］を押します。
   認証に成功すると、本機の機能を使用できるようになります。

ユーザー認証と部門認証の両方を設定している場合は、［ログイン］を押したあと、部門認証を行います。ただし、ユーザー認証と部門認証が連動するように設定され、ログインするユーザーの所属部門が登録されている場合は、部門認証は行いません。詳しくは、［リファレンスガイド］をごらんください。

部門認証の場合

1 ［部門名］と［パスワード］を入力します。

2 ［ログイン］を押します。
   認証に成功すると、本機の機能を使用できるようになります。

はじめに設定してください

本機の設置後、ファクス機能を使用するために以下の項目を設定してください。

G3 ファクスの初期設定

[日付 / 時刻設定]

本機の日付と時刻を設定します。

設定内容の詳細は、[プリンター / コピー / スキャナー ユーザーズガイド] をごらんください。

[ファクス仕向]

本機を設置した国を設定します。

設定内容の詳細は、「[ファクス仕向]」（p.70）をごらんください。

[発信元設定]

発信元情報として付加する本機の名前とファクス番号を設定します。

設定内容の詳細は、「[発信元設定]」（p.56）をごらんください。

[通信設定]

ダイアル方式や受信方式などファクスの使用環境の設定をします。

設定内容の詳細は、「[通信設定]」（p.58）をごらんください。

[PBX 接続設定]

本機を構内交換機（PBX）に接続して使用する場合に設定します。

設定内容の詳細は、「[PBX 接続設定]」（p.67）をごらんください。

インターネットファクスの初期設定

インターネットファクスの初期設定は、PageScope Web Connection から行います。設定内容の詳細は、［リファレンスガイド］をごらんください。

［TCP/IP 設定］

本機を TCP/IP 環境で使用するための設定をします。

［ネットワーク Fax 設定］

インターネットファクス機能を有効にします。

［E-mail 送信（SMTP）］

E-mail を送信するための設定をします。

SMTP サーバーのアドレスや本機の E-mail アドレスを登録します。

インターネットファクスを送信する場合は、［バイナリー分割］は常にオフとなります。

［E-mail 受信（POP）］

E-mail を受信するための設定をします。

POP サーバーのアドレス、ログイン名、パスワードを登録します。

［E-mail 件名］

E-mail の件名を登録します。

件名の指定のしかたについては、「E-mail 情報を設定する（インターネットファクス）」（p.89）をごらんください。

［E-mail 本文］

E-mail の本文を登録します。

本文の指定のしかたについては、「E-mail 情報を設定する（インターネットファクス）」（p.89）をごらんください。

設定しておくと便利な機能

頻繁に送信する相手先の情報は本機にあらかじめ登録しておくことで、送信時に入力する手間を省くことができます。

■ 短縮宛先
頻繁に送信する相手先の情報（ファクス宛先、インターネットファクス宛先など）を登録できます。

■ グループ宛先
複数の短縮宛先を 1 つのグループにまとめて登録できます。

■ プログラム宛先
宛先情報（短縮宛先、グループ宛先）とファクスの送受信に関する設定を組み合わせて登録できます。

宛先の登録方法ついては、「宛先を登録する」（p.153）をごらんください。

G3 ファクス の接続

2

各種接続方法

ここでは G3 ファクスの各種接続について説明します。誤った接続は他の機器に悪影響を与える場合がありますので、正しく接続してください。

本機の初期設定については、［インストレーションガイド］をごらんください。

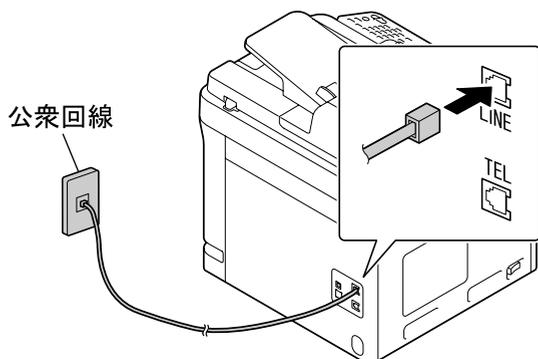
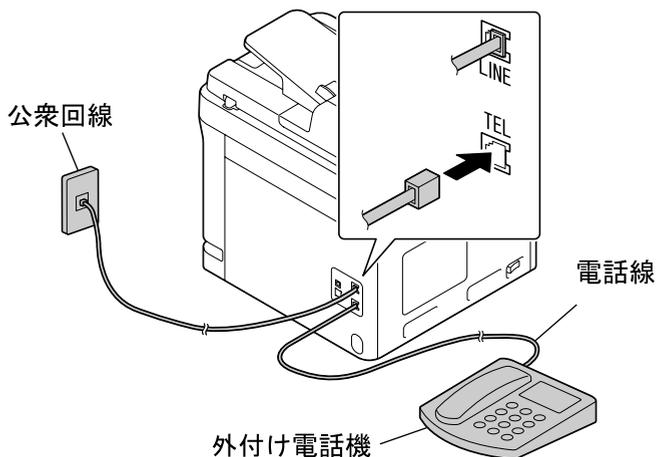
ご注意

ISDN 回線（ターミナルアダプター、ダイアルアップルーター接続）や ADSL 回線に接続してご使用の場合 ISDN 接続機器（ターミナルアダプター等）、ADSL 接続機器（スプリッター等）が原因でファクス機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、ご加入の回線業者へお問い合わせください。ファクスの設置に伴う回線工事には、「電話工事担任者」資格を必要とします。無資格者の工事は事故のもとになりますので、販売店もしくは、ご利用の電話会社にご相談ください。

ISDN 回線、ADSL 回線、デジタルテレビ、CS チューナー、ひかり電話、ホームテレフォン等との接続においては、必ずしもファクス送受信を保障するものではありません。

公衆回線への接続

公衆回線に接続し、回線をファクス専用としてご使用になる場合

ご使用の電話機コードを本機の背面の回線コネクター（LINE）に接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［自動受信］

公衆回線に接続し、電話とファクスの両方をご使用になる場合

ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［TEL/FAX 自動切換え］

留守番電話機能をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［留守番電話接続］

お使いの電話回線内ですでに何台かの電話機が接続されている場合は、本機または本機に接続されている電話機が使用できない場合があります。この場合、配線工事が必要になりますので、取付工事を行った販売店か、ご利用の電話会社にご相談ください。

本機の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続できる端末（電話機など）台数は 1 台です。

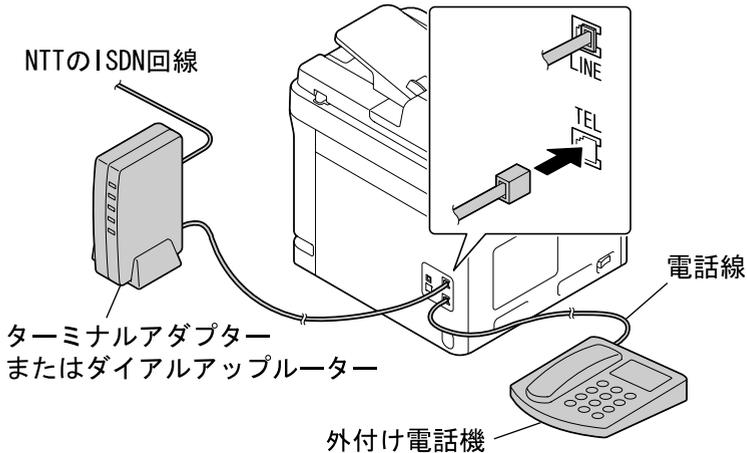
本機の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、電話機側の呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

電話機子機からの転送受信はできません。

ISDN 回線への接続

ISDN 回線（電話番号が 1 つ）に接続する場合

ISDN 回線で電話番号が 1 つの場合、ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続してください。

ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の空きポートは「使用しない」に設定してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］:［TEL/FAX 自動切換え］

留守番電話機能をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］:［留守番電話接続］

電話とファクスは同時に使用することはできません。

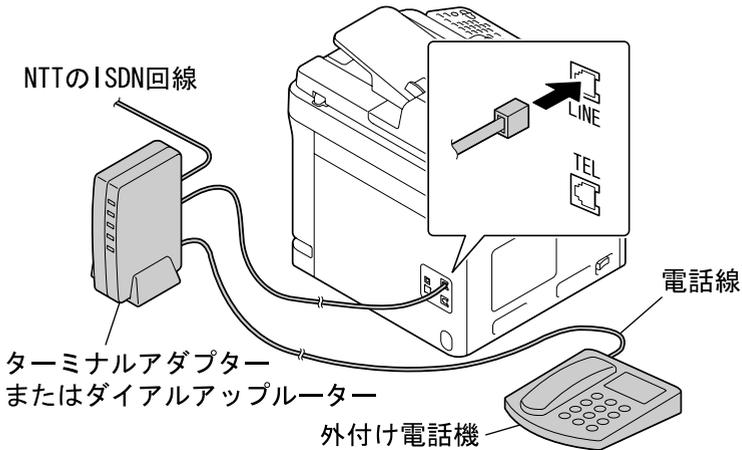
ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）側に本機を接続して電話の発信、着信、通話を確認してください。
万一、本機が使えないときは、ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の設定を確認してください。

ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）によってはブランチ接続（並列接続）が動作保障外の場合があります。
ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の仕様についてはターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の取扱い説明書をご覧いただくかターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）の販売メーカーにお問い合わせください。

本機の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、電話機側の呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

ISDN 回線（電話番号が 2 つ）に接続する場合

電話番号とファクス番号を使い分けることが可能です。

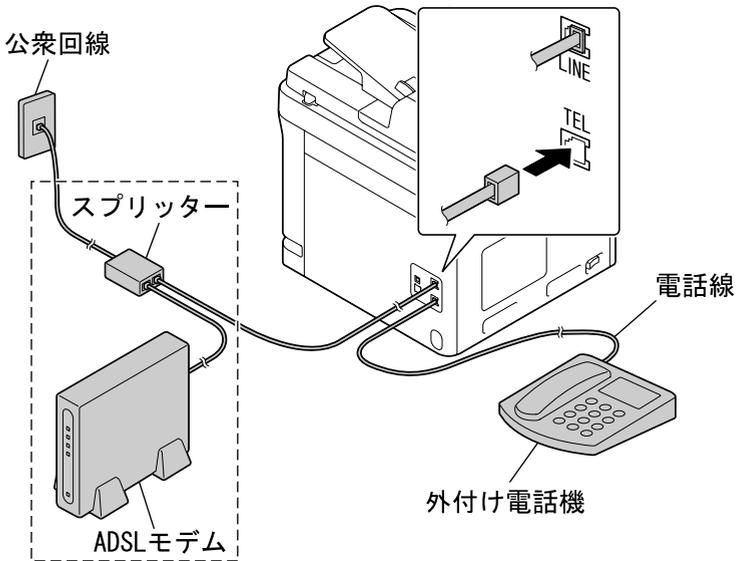
ターミナルアダプター（またはダイアルアップルーター）のファクス用電話番号が割り当てられているアナログポートに本機を接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［自動受信］

ADSL 回線に接続する場合

スプリッターの TEL 側端子に本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続してください

誤った接続の場合、ノイズや通信エラーの原因になります。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［TEL/FAX 自動切換え］

留守番電話機能をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［留守番電話接続］

並列（ブランチ）接続はおやめください。通話音質の低下、ノイズの発生、通信エラーなどの原因になります。

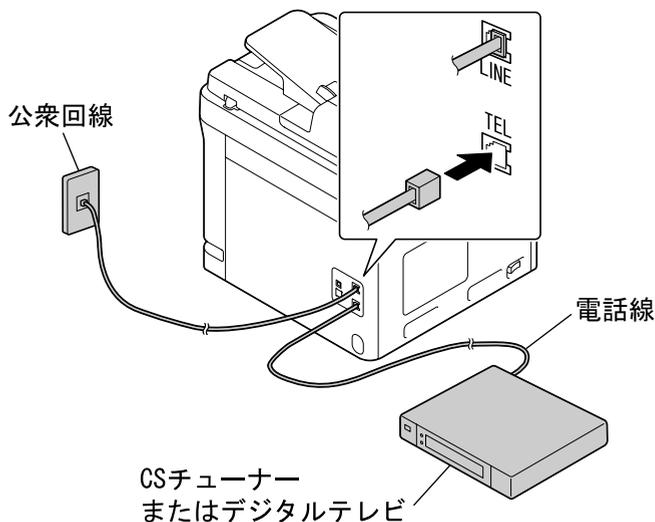
IP フォンを使用してファクス通信を行う場合は、お客様が契約されているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。

自分の声または相手の声が聞きづらい（ひびく）場合、スプリッターが影響している可能性があります。スプリッターを交換すると改善する場合があります。

接続イメージ図内の点線枠の部分は、使用機器によって一体型のADSL モデムの場合もあります。

本機の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続した電話機がファクス内蔵電話機の場合、電話機側の呼び出し応答時間設定が本機より短く設定されていると、着信時に本機側でファクスの受信ができない場合があります。ご使用の機器の取扱説明書をご参照の上、本機の呼び出し応答時間よりも長く設定してください。

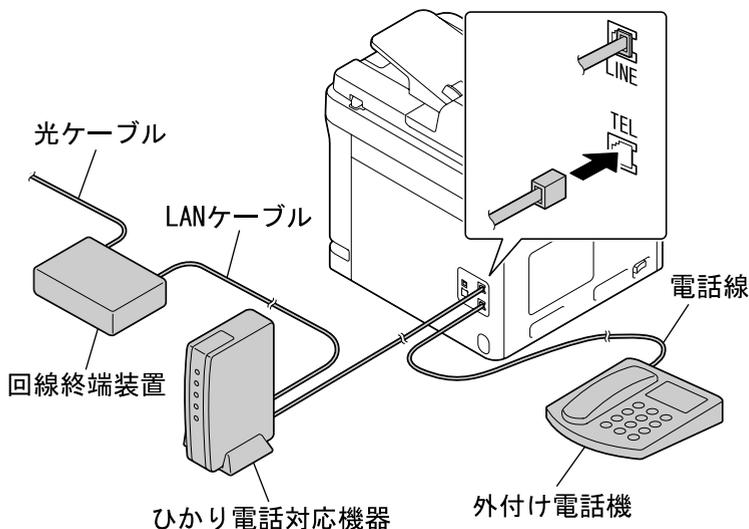
デジタルテレビや CS チューナーに接続する場合

デジタルテレビや CS チューナーは、本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続します。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［TEL/FAX 自動切換え］

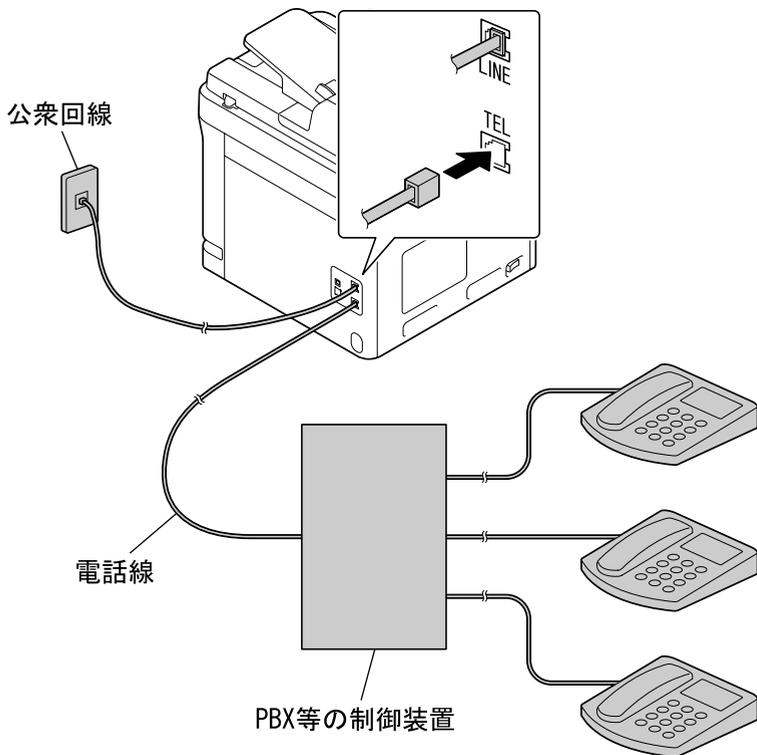
ひかり電話に接続する場合

ひかり電話対応機器（ルーターなど）のアナログポートに本機を接続し、ご使用の電話機を本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続してください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［TEL/FAX 自動切換え］

留守番電話機能をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

– ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［留守番電話接続］

ひかり電話の詳しいサービス内容、およびひかり電話対応機器の設定方法や不具合は NTT にお問い合わせください。
ひかり電話対応機器へ設定するデータは、NTT から郵送される書面をご確認ください。

構内交換機（PBX）、ビジネスフォン、ホームテレフォンに接続する場合

PBX などの制御装置は、本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続します。

回線数が 1 つの場合の例を示します。

■ 本機操作パネルの設定：

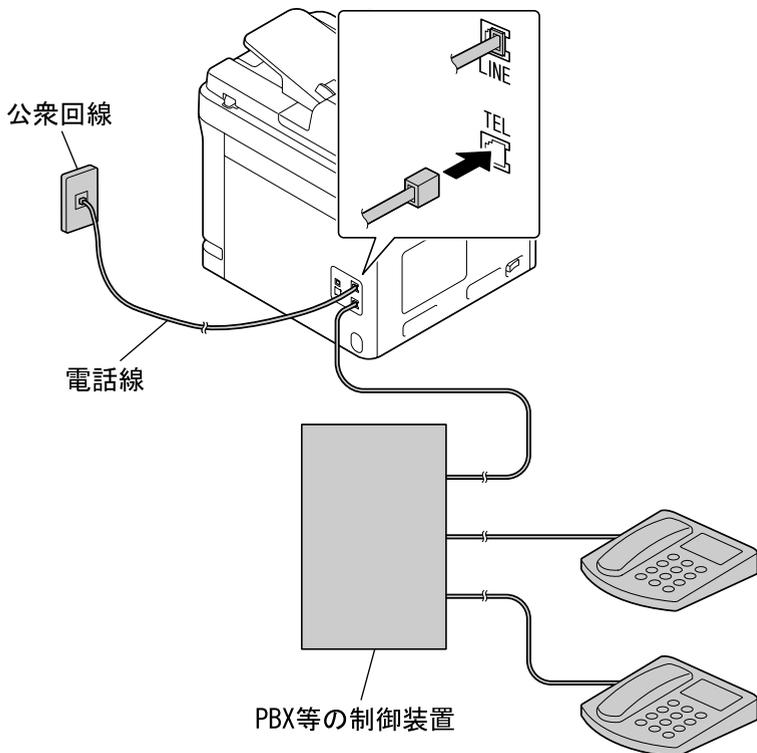
本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

- ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［TEL/FAX 自動切換え］

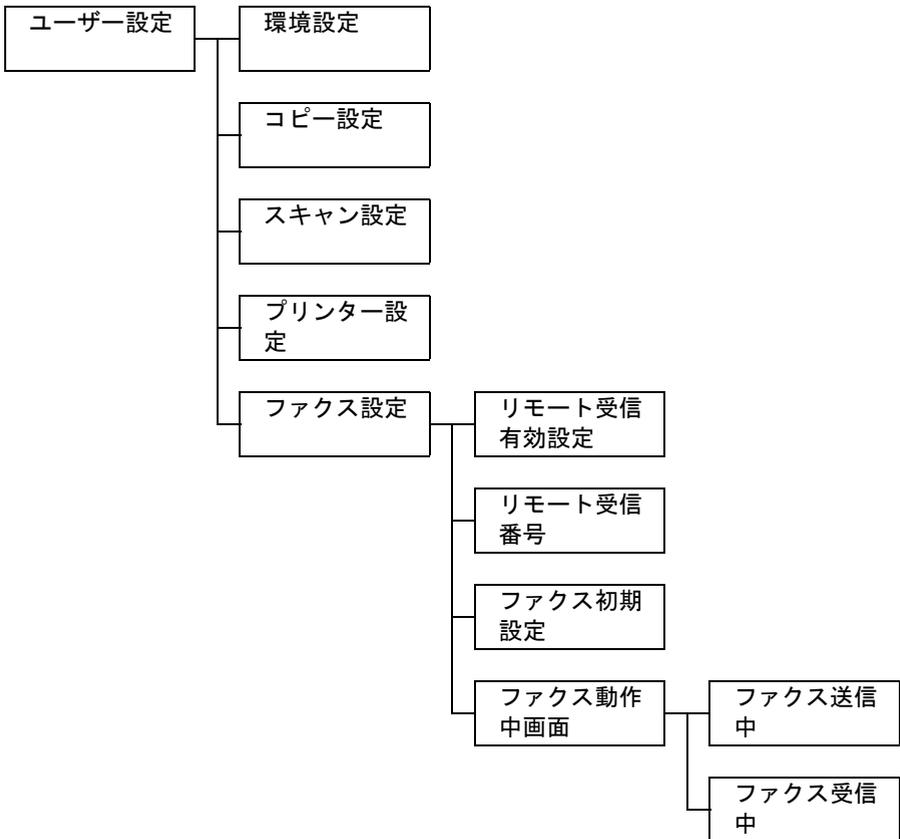
留守番電話機能をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

- ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［留守番電話接続］

内線電話として接続する場合

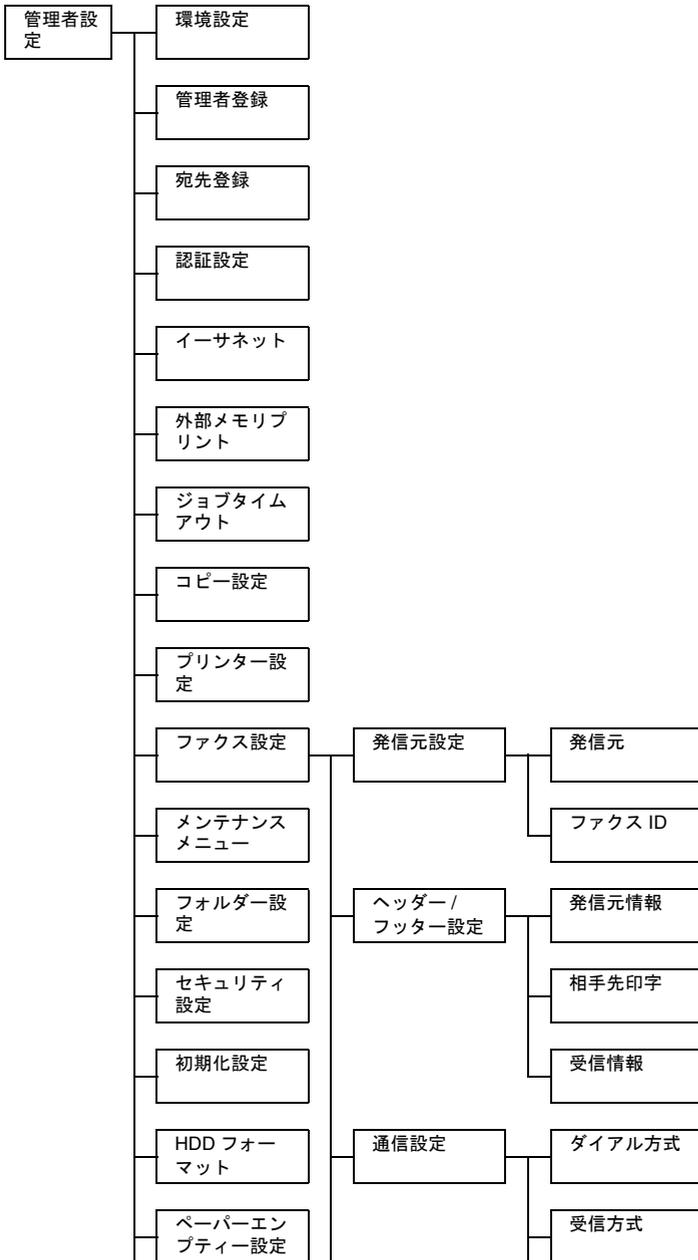
構内交換機（PBX）またはビジネスフォンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機（PBX）またはビジネスフォン主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。詳細は、配線工事を実施した販売店にご相談ください。

■ 本機操作パネルの設定：

本接続をご使用になる場合は、本機操作パネルで以下の設定をしてください。

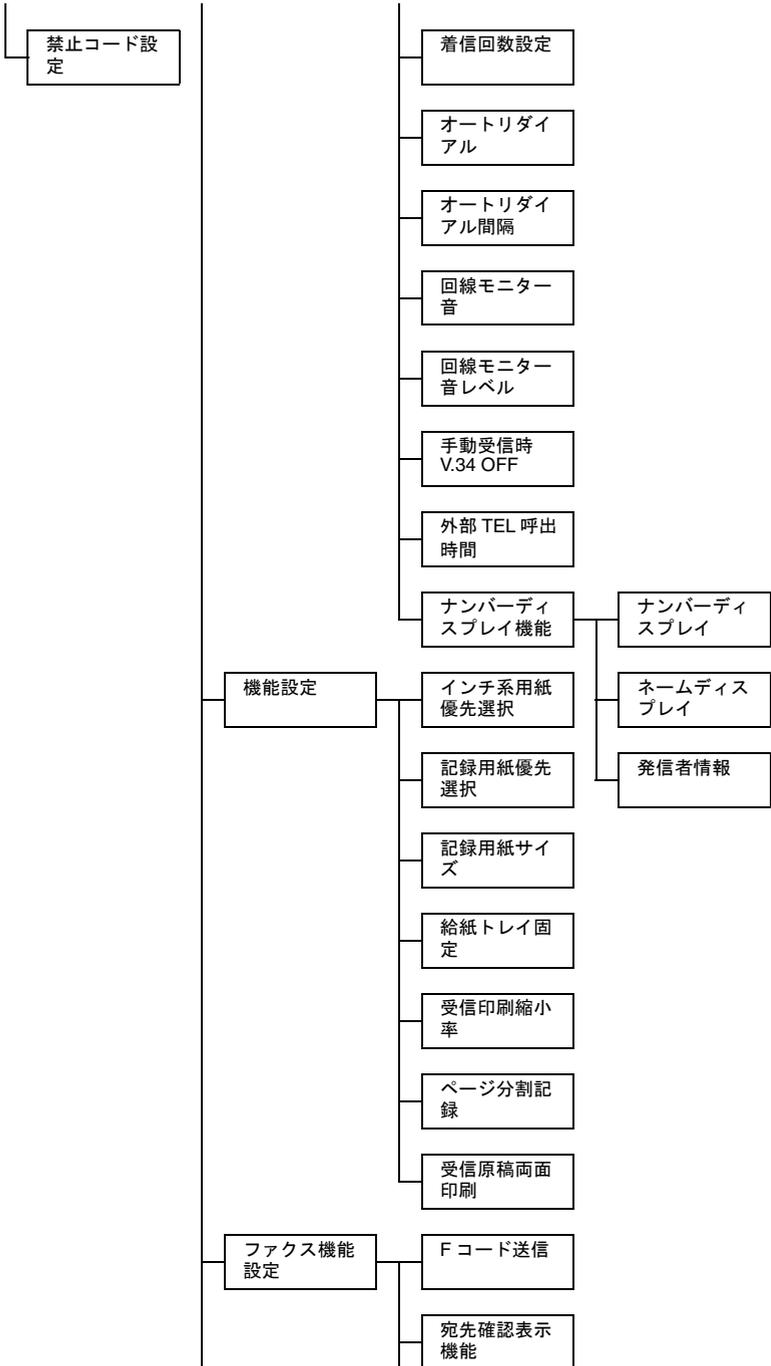
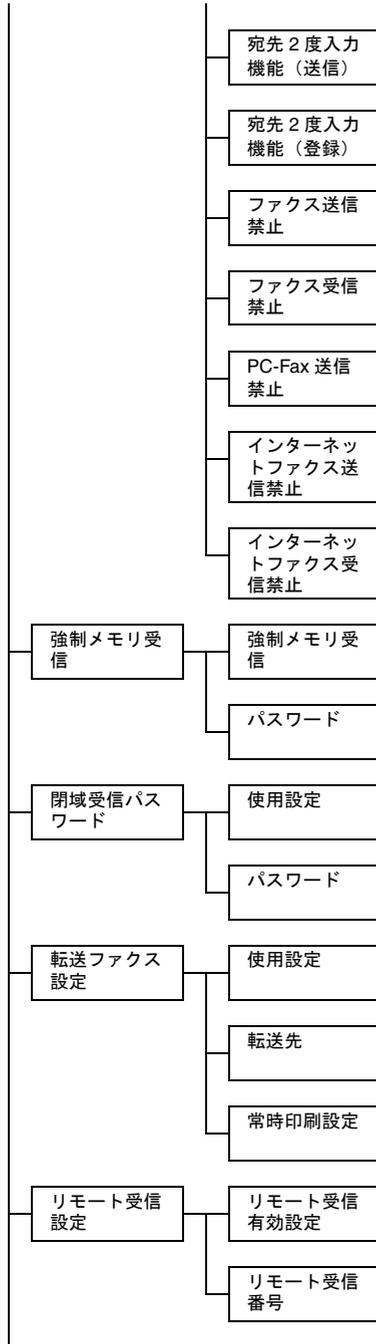
- ［管理者設定］－［ファクス設定］－［通信設定］－［受信方式］：［自動受信］
- ［管理者設定］－［ファクス設定］－［PBX 接続設定］－［PBX 使用設定］：［する］

3 設定メニュー

[ファクス設定]（ユーザー設定）

[ユーザー設定] － [ファクス設定] の設定項目を説明します。

設定画面を表示する

1 操作パネルの [設定メニュー / カウンター] キーを押します。

2 [ユーザー設定] を押します。

3 [ファクス設定] を押します。
ファクス設定画面が表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目	**説明**	
[リモート受信有効設定]	設定	[する] / **[しない]**
	リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。	
[リモート受信番号]	リモート受信機能によってファクス受信を指示するときの受信番号を設定します（2 桁）。	
[ファクス初期設定]	設定	**[工場時の出荷値]** / [現在の設定値]
	本機の電源をオンにしたときや、操作パネルの[リセット] キーを押したときのファクスの送受信に関する設定の初期値を設定します。 [工場時の出荷値]：工場出荷時の設定値が初期値となります。 [現在の設定値]：現在の設定値が初期値となります。	
[ファクス動作中画面]	G3 ファクスの送受信中に、送受信情報を画面に表示させるかどうかを設定します。	
[ファクス送信中]	設定	[する] / **[しない]**
	G3 ファクスの送信中に、送信情報（原稿カウント、宛先、相手先 ID、宛先件数）を画面に表示させるかどうかを設定します。	
[ファクス受信中]	設定	[する] / [**しない**]
	G3 ファクスの受信中に、受信情報（原稿カウント、相手先 ID）を画面に表示させるかどうかを設定します。	

[ファクス設定]（管理者設定）

[管理者設定] ー [ファクス設定] の設定項目を説明します。

禁止コード設定
着信回数設定
オートリダイアル
オートリダイアル間隔
回線モニター音
回線モニター音レベル
手動受信時V.34 OFF
外部 TEL 呼出時間
ナンバーディスプレイ機能
ナンバーディスプレイ
ネームディスプレイ
発信者情報
機能設定
インチ系用紙優先選択
記録用紙優先選択
記録用紙サイズ
給紙トレイ固定
受信印刷縮小率
ページ分割記録
受信原稿両面印刷
ファクス機能設定
F コード送信
宛先確認表示機能

宛先２度入力機能（送信）
宛先２度入力機能（登録）
ファクス送信禁止
ファクス受信禁止
PC-Fax 送信禁止
インターネットファクス送信禁止
インターネットファクス受信禁止
強制メモリ受信
強制メモリ受信
パスワード
閉域受信パスワード
使用設定
パスワード
転送ファクス設定
使用設定
転送先
常時印刷設定
リモート受信設定
リモート受信有効設定
リモート受信番号

PC-Fax 受信
設定
使用設定
PC-Fax 受信
後印刷
夜間受信設定
夜間受信使用
設定
夜間受信開始
時刻
夜間受信終了
時刻
PBX 接続設定
PBX 使用設定
外線番号
ファクスレ
ポート
通信管理レ
ポート
出力の設定
出力時刻設定
出力限定設定
送信結果レ
ポート
送信結果レ
ポート画像付
き
予約レポート
PC-Fax 送信
エラーレポー
ト
同報送信結果
レポート
同報結果レ
ポート出力
送信結果レ
ポート画面
I-Fax 受信エ
ラーレポート

設定画面を表示する

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。
2 ［管理者設定］を押します。
3 管理者パスワード（初期値：12345678）を入力し、［OK］を押します。
4 ［ファクス設定］を押します。
ファクス設定画面が表示されます。

以降の説明の太字は工場出荷時の設定値を表します。

［発信元設定］

項目	説明
［発信元］	発信元情報として付加する本機の名前を入力します（30 バイト以内）。
［ファクス ID］	発信元情報として付加する本機のファクス番号を入力します（半角数字、+、スペースで 20 桁以内）。

[ヘッダー / フッター設定]

項目	説明	
[発信元情報]	設定	[原稿内] / **[原稿外]** / [OFF]
	発信元情報（発信元名、相手先のファクス番号または発信元のファクス番号、送信開始日時、通信番号、ページ番号／総ページ数）の印刷位置を指定します。 発信元情報は、相手先の受信文書のヘッダーに印刷されます。 [OFF] に設定すると、発信元情報は印刷されません。 インターネットファクスの場合、[原稿外] に設定しても、発信元情報は原稿内に印刷されます。	
[相手先印字]	設定	**[する]** / [しない]
	発信元情報として相手先のファクス番号を印刷するかどうかを設定します。 [する]：相手先のファクス番号が印刷されます。 [しない]：発信元のファクス番号が印刷されます。 インターネットファクスの場合、相手先のファクス番号は印刷されません。	
[受信情報]	設定	[本文中テキスト] / [原稿外] / **[受信情報 OFF]**
	受信情報（受信時刻、受信番号）の印刷位置を指定します。 受信情報は、本機の受信文書のフッターに印刷されます。 [受信情報 OFF] に設定すると、受信情報は印刷されません。	

［通信設定］

項目	説明	
［ダイアル方式］	設定	［**PB**］/［10pps］/［20pps］
	ご使用の通信環境に合わせてダイアル方式を設定します。	
［受信方式］	設定	［**自動受信**］/［手動受信］/［TEL/FAX 自動切換え］/［留守番電話接続］
	G3 ファクスの受信方式を設定します。 ［自動受信］: ファクス専用で回線を使用する場合に設定します。一定回数の呼び出し音が鳴ると、ファクスを自動的に受信します。 ［手動受信］: 外付け電話機の接続時に電話としての使用を優先する場合や、リモート受信機能を使用する場合に設定します。ファクス受信を手動で指示します。 ［TEL/FAX 自動切換え］: 外付け電話機の接続時にファクス受信を優先する場合に設定します。相手先がファクスの場合は自動的に受信します。電話の場合は電話機の呼び出し音が鳴ります。 ［留守番電話接続］: 留守番電話を接続する場合に設定します。着信すると留守番電話のメッセージが流れます。相手先がファクスの場合は自動的に受信します。	
［着信回数設定］	設定	［1］～［15］（［**2**］）
	G3 ファクスを自動受信する場合に、受信を開始するまでの呼び出し音の回数を設定します。	
［オートリダイアル］	設定	［0］～［10］（［**1**］）
	G3 ファクスが正常に送信されなかった場合のオートリダイアルの実行回数を設定します。	
［オートリダイアル間隔］	設定	［2］～［15］（［**2**］）
	オートリダイアルの実行間隔を設定します（単位 : 分）。	

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">［回線モニター音］</td><td>設定</td><td>［OFF］/［接続完了まで］/［通信終了まで］</td></tr>
<tr><td colspan="2">G3 ファクス通信時に電話回線上の音（回線モニター音）を鳴らすかどうかを設定します。

［OFF］: 回線モニター音が鳴りません。

［接続完了まで］: ダイアルしてから相手先との接続が完了するまで回線モニター音が鳴ります。

［通信終了まで］: ダイアルしてからファクス通信が終了するまで回線モニター音が鳴ります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［回線モニター音レベル］</td><td>設定</td><td>［小］/［中］/［大］</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線モニター音を鳴らす場合に、回線モニター音の音量を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［手動受信時 V.34 OFF］</td><td>設定</td><td>［はい］/［いいえ］</td></tr>
<tr><td colspan="2">G3 ファクスを手動受信するとき、V.34 モードを自動的に解除するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［外部 TEL 呼出時間］</td><td>設定</td><td>［5］～［30］（［15］）</td></tr>
<tr><td colspan="2">電話がかかってきたときに外付け電話機の呼び出し音を鳴らす時間の長さを設定します（単位：秒）。

［受信方式］を［TEL/FAX 自動切換え］または［留守番電話接続］に設定した場合に設定します。

留守番電話を使用する場合、留守番電話の応答が開始されるまでの時間よりも、［外部 TEL 呼出時間］が長くなるように設定してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">［ナンバーディスプレイ機能］</td><td colspan="2">ナンバーディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。

ナンバーディスプレイ機能を使用するためには、事前に NTT への申し込みが必要です。</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="2">［ナンバーディスプレイ］</td><td>設定</td><td>［する］ / ［しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">ナンバーディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。

［しない］に設定すると、［ネームディスプレイ］、［発信者情報］は表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ネームディスプレイ］</td><td>設定</td><td>［する］ / ［しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">ナンバーディスプレイ機能を使用する場合に、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。

ネームディスプレイ機能を使用するためには、事前に NTT への申し込みが必要です。

［しない］に設定すると、［発信者情報］は表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［発信者情報］</td><td>設定</td><td>［ネームを表示］ / ［ナンバーを表示］</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネームディスプレイ機能を使用する場合に、ネームとナンバーのどちらを画面に表示させるかを設定します。</td></tr>
</table>

［機能設定］

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">［インチ系用紙優先選択］</td><td>設定</td><td>［する］/ ［しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書を印刷するときにインチ系の用紙を優先的に使用するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［記録用紙優先選択］</td><td>設定</td><td>［自動選択］/［サイズ固定］/［サイズ優先］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書を印刷する用紙の優先順位を設定します。
［自動選択］: 自動的に選択された用紙に印刷されます。
［サイズ固定］:［記録用紙サイズ］で設定されている用紙に印刷されます。
［サイズ優先］: 優先サイズの用紙に印刷されます。優先サイズの用紙がない場合は、もっとも近いサイズの用紙に印刷されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［記録用紙サイズ］</td><td>設定</td><td>［レター］/［リーガル］/［Oficio］/ ［A4］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書を印刷する用紙のサイズを設定します。
この設定を有効にするためには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定する必要があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［給紙トレイ固定］</td><td>設定</td><td>［自動］/［トレイ 1］/［トレイ 2］/［トレイ 3］/［トレイ 4］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書を印刷するときに使用する給紙トレイを固定するかどうかを設定します。給紙トレイを固定する場合は、使用する給紙トレイを指定します。
オプションの給紙ユニット（トレイ 3、トレイ 4）が装着されていない場合は、［トレイ 3］、［トレイ 4］は表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［受信印刷縮小率］</td><td>設定</td><td>［87%］〜 ［96%］/［100%］</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書を印刷するときの縮小率を設定します。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">［ページ分割記録］</td><td>設定</td><td>［する］/ ［しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">定形サイズより長い文書を印刷するとき、ページを分割して印刷するかどうかを設定します。
［受信原稿両面印刷］が［する］に設定されている場合は、この項目は表示されません。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［受信原稿両面印刷］</td><td>設定</td><td>［する］/ ［しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">定形サイズより長い文書を印刷するとき、用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。
［ページ分割記録］が［する］に設定されている場合は、この項目は表示されません。</td></tr>
</table>

［ファクス機能設定］

項目	説明	
［F コード送信］	設定	**［する］** / ［しない］
	F コード送信機能を使用するかどうかを設定します。	
［宛先確認表示機能］	設定	［する］ / **［しない］**
	ファクスの送信を開始する前に、送信宛先の確認画面を表示させるかどうかを設定します。	
［宛先 2 度入力機能（送信）］	設定	［する］ / **［しない］**
	ファクス番号を直接入力して指定するとき、ファクス番号を 2 度入力させるかどうかを設定します。 繰り返し入力させることで、入力ミスによる誤送信を防止できます。	
［宛先 2 度入力機能（登録）］	設定	**［する］** / ［しない］
	ファクス番号を短縮宛先に登録するとき、ファクス番号を 2 度入力させるかどうかを設定します。 繰り返し入力させることで、入力ミスによる登録間違いを防止できます。	
［ファクス送信禁止］	設定	［する］ / **［しない］**
	G3 ファクスの送信を禁止するかどうかを設定します。	
［ファクス受信禁止］	設定	［する］ / **［しない］**
	G3 ファクスの受信を禁止するかどうかを設定します。	
［PC-Fax 送信禁止］	設定	［する］ / **［しない］**
	PC ファクスの送信を禁止するかどうかを設定します。	

項目	説明	
[インターネットファクス送信禁止]	設定	[する] / **[しない]**
	インターネットファクスの送信を禁止するかどうかを設定します。	
[インターネットファクス受信禁止]	設定	[する] / **[しない]**
	インターネットファクスの受信を禁止するかどうかを設定します。	

[強制メモリ受信]

項目	説明	
[強制メモリ受信]	設定	[する] / **[しない]**
	強制メモリ受信機能を使用するかどうかを設定します。	
[パスワード]	本機のメモリーのパスワードを設定します（8 桁以内）。	

この機能は、PC-Fax 受信機能、転送ファクス機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

[閉域受信パスワード]

項目	説明	
[使用設定]	設定	[はい] / **[いいえ]**
	閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。	
[パスワード]	閉域受信のパスワードを設定します（4 桁）。	

[転送ファクス設定]

項目	説明	
[使用設定]	設定	[する] / **[しない]**
	転送ファクス機能を使用するかどうかを設定します。	
[転送先]	転送先のファクス番号または E-mail アドレスを指定します。E-mail アドレスは登録宛先からのみ指定できます。 を押すと、登録宛先から指定できます。	
[常時印刷設定]	設定	[常時印刷] / **[不達時のみ印刷]**
	受信文書を転送すると同時に印刷するかどうかを設定します。 [常時印刷]：転送すると同時に印刷されます。 [不達時のみ印刷]：転送に失敗した場合だけ印刷されます。	

この機能は、PC-Fax 受信機能、強制メモリ受信機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

［リモート受信設定］

項目	説明	
［リモート受信有効設定］	設定	［する］/［しない］
	リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。	
［リモート受信番号］	リモート受信機能によってファクス受信を指示するときの受信番号を設定します（2 桁）。	

［PC-Fax 受信設定］

項目	説明	
［使用設定］	設定	［する］/［しない］
	PC ファクス受信機能を使用するかどうかを設定します。 ［する］に設定すると、PC ファクス、G3 ファクス、インターネットファクスの受信文書が本機のメモリーに保存されます。	
［PC-Fax 受信後印刷］	設定	［する］/［しない］
	PC ファクスの受信文書をメモリーに保存すると同時に印刷するかどうかを設定します。	

この機能は、転送ファクス機能、強制メモリ受信機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

［夜間受信設定］

項目	説明	
［夜間受信使用設定］	設定	［する］/［しない］
	夜間受信機能を使用するかどうかを設定します。 ［する］に設定すると、夜間時間帯に受信した文書の印刷を禁止します。夜間時間帯に受信した文書は、夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。	
［夜間受信開始時刻］	夜間時間帯の開始時刻を設定します。	
［夜間受信終了時刻］	夜間時間帯の終了時刻を設定します。	

この機能は、転送ファクス機能、強制メモリ受信機能、PC-Fax 受信機能とは同時に使用できません。

［PBX 接続設定］

項目	説明	
［PBX 使用設定］	設定	［する］/［しない］
	本機を構内交換機（PBX）に接続して使用するかどうかを設定します。	
［外線番号］	構内交換機（PBX）環境で、内線から外線に発信するときの外線アクセス番号を設定します。 宛先のファクス番号の前に外線アクセス番号がダイアルされます。	

［ファクスレポート］

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">［通信管理レポート］</td><td colspan="2">通信管理レポートの印刷設定をします。</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td rowspan="2">［出力の設定］</td><td>設定</td><td>［100 通信毎］／［毎日］／［100/ 毎日］／［使用しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">通信管理レポートの印刷条件を設定します。
［100 通信毎］：100 通信ごとに印刷されます。
［毎日］：毎日の定時に印刷されます。
［100/ 毎日］：毎日の定時と 100 通信ごとに印刷されます。
［使用しない］：印刷されません。</td></tr>
<tr><td>［出力時刻設定］</td><td colspan="2">［出力の設定］で［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合に、通信管理レポートを印刷する時刻を指定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［出力限定設定］</td><td>設定</td><td>［100 件］／［24 時間以内］</td></tr>
<tr><td colspan="2">［出力の設定］で［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合に、通信管理レポートの印刷条件を設定します。
［100 件］：最新の 100 通信分が印刷されます。
［24 時間以内］：24 時間以内の最大 100 通信分が印刷されます。</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［送信結果レポート］</td><td>設定</td><td>［常時］／［エラー時のみ］／［使用しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信結果レポートの印刷条件を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">［送信結果レポート画像付き］</td><td>設定</td><td>［する］／［しない］</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信原稿の 1 ページ目の縮小画像を送信結果レポートに印刷するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

項目	説明	
［予約レポート］	設定	**［する］**／［しない］
	タイマー送信時に送信予約レポートを印刷するかどうかを設定します。	
［PC-Fax 送信エラーレポート］	設定	**［する］**／［しない］
	PC ファクスの送信に失敗したときに、送信エラーレポートを印刷するかどうかを設定します。	
［同報送信結果レポート］	設定	**［する］**／［しない］
	同報送信時に同報送信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。	
［同報結果レポート出力］	設定	**［全件一括］**／［1 宛先毎］
	同報送信結果レポートの印刷条件を設定します。 ［全件一括］：送信結果に関わらず、すべての宛先への送信が終了したときに印刷されます。 ［1 宛先毎］：リダイアルに失敗した宛先ごとに印刷されます。	
［送信結果レポート画面］	設定	［する］／**［しない］**
	ファクスの送信前に、送信結果レポートを印刷するかどうかの確認画面を表示させるかどうかを設定します。	
［I-Fax 受信エラーレポート］	設定	**［する］**／［しない］
	インターネットファクスの受信に失敗したときに、受信エラーレポートを印刷するかどうかを設定します。	

［リスト印刷］

項目	説明	
［ファクス設定値リスト］	設定	**［印刷］**／［中止］
	ファクス関連の設定値リストを印刷するかどうかを設定します。 印刷する場合は、［印刷］を選択して［OK］を押してください。	

［ファクス仕向］

説明	
設定	［アメリカ］／［カナダ］／［メキシコ］／［オーストリア］／［ベルギー］／［デンマーク］／［フィンランド］／［フランス］／［ドイツ］／［ギリシャ］／［アイルランド］／［イタリア］／［オランダ］／［ノルウェー］／［ポーランド］／［ポルトガル］／［スペイン］／［スウェーデン］／［スイス］／［イギリス］／［ロシア］／［アルゼンチン］／［ブラジル］／［南アフリカ］／［オーストラリア］／［ニュージーランド］／［中国］／［香港］／［マレーシア］／［シンガポール］／［韓国］／［台湾］／［イスラエル］／**［日本］**／［サウジアラビア］／［トルコ］／［ハンガリー］／［スロバキア］／［ベトナム］／［チェコ共和国］／［フィリピン］／［ヨーロッパ］
本機を設置する国を設定します。本機を設置するときに設定してください。	

[ファクス設定初期化]

説明	
設定	[はい] / **[いいえ]**
ファクス関連の設定を工場出荷時の状態に戻すかどうかを設定します。 工場出荷時の状態に戻す場合は、[はい] を選択して [OK] を押してください。	

登録宛先は初期化されません。

[ファクス初期設定]

説明	
設定	[はい] / **[いいえ]**
本機のメモリーに保存されているファクスデータを初期化するかどうかを設定します。 初期化する場合は、[はい] を選択して [OK] を押してください。初期化が完了すると、本機が自動的に再起動します。	

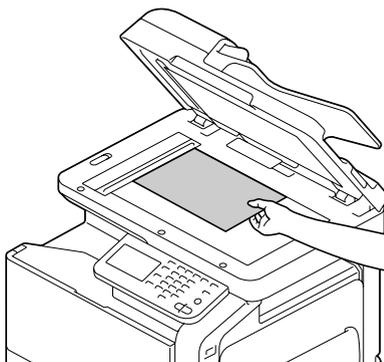
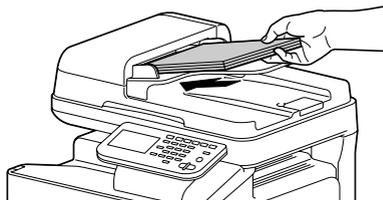
登録宛先は初期化されません。

ファクスを送信する

ファクス送信の基本操作

G3 ファクスおよびインターネットファクス送信の基本的な操作を説明します。

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。
- ファクスモードの初期画面については、「ファクスモードの初期画面」（p.30）をごらんください。

2 ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。
- 原稿のセットのしかたについては、「原稿をセットする」（p.76）をごらんください。

3 宛先を指定します。
- 宛先の指定のしかたについては、「宛先を指定する」（p.79）をごらんください。
- ファクスモードの初期画面の［設定内容］を押すと、指定した宛先の確認、削除ができます。

4 必要に応じて、［設定］の各項目を設定します。

– ［読込み設定］については、「読込み条件を設定する」（p.83）をごらんください。
– ［通信設定］については、「通信回線の設定をする（G3 ファクス）」（p.86）、「送信機能の設定をする（G3 ファクス）」（p.87）、「E-mail 情報を設定する（インターネットファクス）」（p.89）をごらんください。
– ［原稿設定］については、「送信原稿の設定をする」（p.90）をごらんください。

5 ［スタート］キーを押します。
– ［スタート（カラー）］キーと［スタート（モノクロ）］キーのどちらを押しても、ファクスはモノクロで送信されます。

すべての原稿の読込みが終了すると、ファクスの送信が開始されます。

本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定については、「［読込みサイズ］」（p.90）をごらんください。

G3 ファクスが正常に送信されなかった場合は、オートリダイアル機能によって再送信されます。詳しくは、「自動的にリダイアルする（G3 ファクス）」（p.96）をごらんください。

ファクスの送信結果は送信結果レポートから確認できます、詳しくは、「送信結果レポート」（p.166）をごらんください。

待機中のファクス送信を中止したい場合は、ジョブ画面から待機中の送信ジョブを削除します。詳しくは、「送信を中止する」（p.97）をごらんください。

原稿の読込み中にメモリー残量がなくなった場合は、読込みを継続できません。読込みが終了した原稿のみ送信する場合は、［スタート］キーを押してください。送信を中止する場合は、［ストップ］キーを押してください。

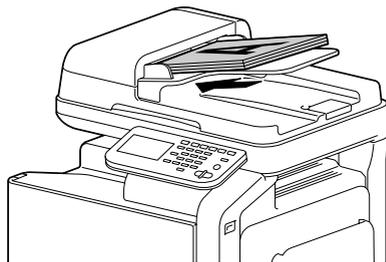
インターネットファクスの送信は、以下の形式に対応しています。
– ファイル形式：モノクロ TIFF
– データ圧縮形式：TIFF-S (MH)

原稿をセットする

ADF または原稿ガラスに原稿をセットします。

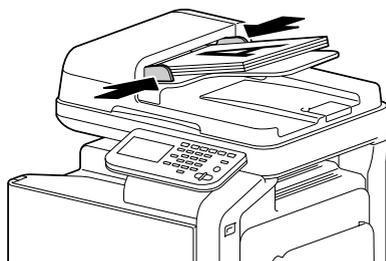
ADF にセットする

ADF では複数枚の原稿を自動的に読込むことができます。また、原稿の両面を読込むこともできます。

1 読込む面を上にして原稿給紙トレイに原稿を置きます。

2 ガイド板を原稿に沿わせます。

リーガルサイズの原稿を読込む場合、原稿ストッパーを倒してください。

原稿枚数が ADF の容量を超える場合は、原稿の読込みを数回に分割できます。詳しくは、「[連続読込み設定]」（p.84）をごらんください。

ADF ではレターとリーガルの混載原稿を読込むことができます。レターとリーガルの混載原稿を読込む場合は、読込む原稿のサイズをリーガルに設定してください。原稿サイズの設定については、「[読込みサイズ]」（p.90）をごらんください。

原稿は 50 枚またはマークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。

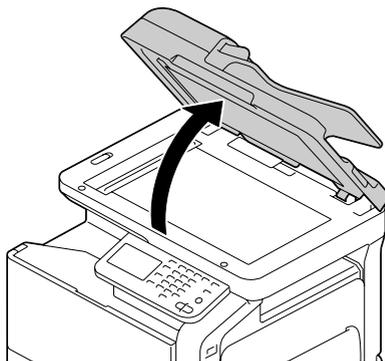
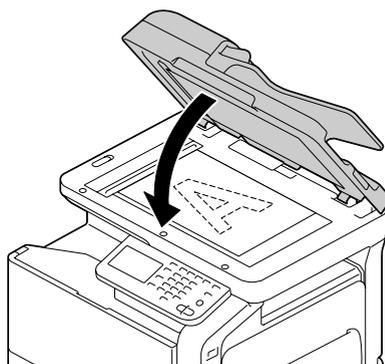
クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

原稿の読込み中は、ADF を開かないでください。

原稿ガラスにセットする

原稿ガラスでは、ADF にセットできない原稿（本などのように厚みのある原稿や薄い原稿など）を読込むことができます。原稿は 1 枚ずつ読込みます。

1 ADF を開きます。

2 読込む面を下にして原稿ガラスに原稿を置き、原稿スケールに沿うように合わせます。

3 ADF を静かに閉じます。

原稿ガラスで複数ページの原稿を読込む場合は、原稿の読込みを数回に分割できます。詳しくは、「[連続読込み設定]」(p.84) をごらんください。

宛先を指定する

宛先の指定のしかたには、以下の方法があります。

■ 登録宛先から指定する（p.79）

■ 直接入力して指定する（p.80）

■ 履歴から指定する（p.81）

■ LDAP 検索して指定する（p.82）

登録宛先から指定する

本機に登録されている宛先から指定します。

登録宛先から指定するには、あらかじめ本機に短縮宛先やグループ宛先を登録しておく必要があります。詳しくは、「宛先を登録する」（p.153）をごらんください。

常用（よく使う宛先）から指定する

常用（よく使う宛先）に設定されている宛先から指定します。

工場出荷時の設定では、常用（よく使う宛先）に設定されている宛先の一覧が最初に表示されます。

■ 目的の宛先のキーを押して指定してください。

■ 複数の相手先に送信（同報送信）する場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

常用（よく使う宛先）の設定については、「短縮宛先を登録する」（p.155）をごらんください。

検索文字から指定する

宛先ごとに設定されている検索文字から指定します。

1 ファクスモードの初期画面で [ボタン] を押します。

2 目的の宛先の検索文字タブを押します。
   – 目的の宛先の検索文字タブが表示されていない場合は、[→] または [←] を押してください。
   – ［かな］を押すと、検索文字タブを「かな」表示に切換えることができます。
   – グループ宛先を指定する場合は、［グループ］を押してください。

3 目的の宛先を指定し、［OK］を押します。
   – 複数の相手先に送信（同報送信）する場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

種別や名前から検索して指定する

宛先の種別や名前から検索して指定します。

1 ファクスモードの初期画面で を押します。

2 ［検索］を押します。

3 検索方法を選択します。
   - ［種別］：宛先の種別（ファクス、インターネットファクスなど）ごとの表示に切換えます。
   - ［名前］：宛先の名前を入力して検索します。名前を入力して［OK］を押すと、検索結果の一覧が表示されます。

4 目的の宛先を指定し、［OK］を押します。
   - 複数の相手先に送信（同報送信）する場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

5 ［OK］を押します。

直接入力して指定する

本機に登録されていない宛先を指定する場合は、直接入力して指定します。

［管理者設定］－［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［手動宛先入力］が［禁止］に設定されている場合は、直接入力して指定することはできません。

G3 ファクスの場合

1 ファクスモードの初期画面で［直接入力］を押します。

2 ［ファクス］を押します。

3 ファクス番号を入力します。
   - ［トーン］：ダイアル回線でプッシュ信号を発信したいときに押します。画面には［T］と表示されます。
   - ［ポーズ］：ダイアルに間をあけたいときに押します。画面には［P］と表示されます。
   - ［-］：ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。

4 ［OK］を押します。

［管理者設定］－［ファクス設定］－［ファクス機能設定］－［宛先 2 度入力機能（送信）］が［する］に設定されている場合は、手順 4 で［OK］を押したあと、ファクス番号を再入力する必要があります。

複数の相手先に送信（同報送信）する場合は、ファクス番号を入力したあと［次宛先］を押し、次のファクス番号を入力してください。

内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、外線番号のあとに［ポーズ］を入力してください。

インターネットファクスの場合

1 ファクスモードの初期画面で［直接入力］を押します。
2 ［インターネットファクス］を押します。
3 E-mail アドレスを入力します。
4 ［OK］を押します。

複数の相手先に送信（同報送信）する場合は、この操作を繰り返し行い、目的の宛先をすべて指定してください。

履歴から指定する

送信履歴（直前に送信した 5 宛先まで）から指定します。

1 ファクスモードの初期画面で［拡張］を押します。
2 ［履歴］を押します。
3 目的の宛先を指定し、［OK］を押します。

直接入力して指定した宛先のみ履歴に残ります。

宛先が 1 件のジョブのみ履歴から指定できます。

本機の電源をオフにすると、履歴は消去されます。

［管理者設定］－［ファクス設定］－［ファクス機能設定］－［宛先 2 度入力機能（送信）］が［する］に設定されている場合は、履歴から指定することはできません。

［管理者設定］－［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［通信履歴非表示］が［する］に設定されている場合は、履歴から指定することはできません。

以下の送信の場合は、履歴に残りません。

– PC ファクス
– 転送ファクス
– 本機の電源をオンにして復旧した送信（タイマー送信ジョブなど）
– 手動送信

LDAP 検索して指定する

LDAP サーバーを運用している場合は、LDAP サーバーに登録されているアドレス帳から宛先を検索して指定できます。

LDAP 検索して指定するには、PageScope Web Connection から LDAP サーバーを登録する必要があります。詳しくは、［リファレンスガイド］をごらんください。

インターネットファクスは LDAP 検索に対応していません。

1 ファクスモードの初期画面で を押します。

2 ［LDAP］を押します。

3 検索方法を選択し、検索を実行します。
- ［検索］: 検索するキーワードを入力し、［OK］を押します。
- ［高度な検索］: 検索するキーワードと検索条件を指定し、［OK］を押します。

4 目的の宛先を指定し、［OK］を押します。
- 宛先を指定して［登録一覧］を押すと、短縮宛先に登録できます。
- 宛先を指定して［詳細］を押すと、宛先の詳細情報を確認できます。
- 複数の相手先に送信（同報送信）する場合は、目的の宛先をすべて指定してください。

読込み条件を設定する

［設定］－［読込み設定］では、原稿の読込み条件を設定します。

［原稿画質］

原稿の内容に応じて原稿画質を設定します。

項目	説明
［文字］	文字だけの原稿を読込む場合に選択します。
［文字 / 写真］	文字と写真が混ざった原稿を読込む場合に選択します。
［写真］	写真だけの原稿を読込む場合に選択します。

［解像度］

原稿を読込むときの解像度を設定します。

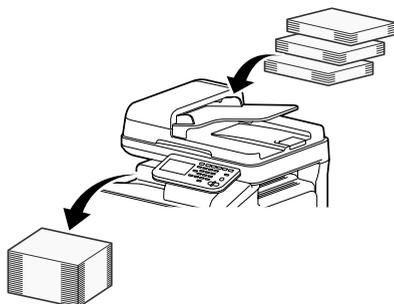
項目	説明
［標準］	200 × 100 dpi で読込みます。
［精細］	200 × 200 dpi で読込みます。
［高精細］ （G3 ファクスのみ）	400 × 400 dpi で読込みます。

精細に読込むほど、送信する情報量が増え、通信時間が長くなります。

インターネットファクスは［高精細］での読込みに対応していません。［高精細］に設定した場合は、自動的に［精細］に変換されて読込まれます。

［連続読込み設定］

原稿の読込みを分割するかどうかを設定します。

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、原稿ガラスで複数枚の原稿を読込みたい場合などに、読込みを数回に分割することで、1 つの原稿としてスキャンできます。

連続読込みのしかた

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。

2 ADF または原稿ガラスに最初の原稿をセットします。

3 宛先を指定します。

4 ［設定］を押します。

5 ［読込み設定］を押します。

6 ［連続読込み設定］を［する］に設定します。

7 ［スタート］キーを押します。
原稿が読込まれます。

8 次の原稿をセットし、［スタート］キーを押します。
– すべての原稿を読込むまで、この操作を繰り返します。
– ［設定変更］を押すと、読込み設定を変更できます。

9 すべての原稿の読込みが終了したら、［終了］を押します。

［濃度］

原稿を読込むときの濃度を設定します。

濃度は 9 段階から設定します。原稿の濃さに応じて設定してください。

［下地調整］

下地色の付いた原稿（新聞紙や再生紙など）や裏面が透ける薄い原稿を読込むときの下地色の濃度を設定します。

濃度は 9 段階から設定します。下地色の濃さに応じて設定してください。

［シャープネス］

原稿を読込むときの文字や線などの境界部分の強さを設定します。

文字や線などをはっきりと読込む場合は、＋側に設定します。シャープネスは 7 段階から設定します。

通信回線の設定をする（G3 ファクス）

［設定］－［通信設定］－［回線設定］では、G3 ファクスの通信回線の設定をします。

［ECM OFF］

ECM モードを解除して通信するかどうかを設定します。

ECM モードとは、ITU-T（国際電気通信連合）によって定められた誤り再送方式の通信です。工場出荷時の設定では、ECM モードで通信が行われます。

ECM モードが有効の場合、データが相手に正しく送られたかどうかを確認しながら通信が行われます。通信時間を短縮したい場合に、ECM モードを解除します。

この機能は、ポーリング受信機能とは同時に使用できません。

［V34 OFF］を［いいえ］に設定している場合は、［ECM OFF］を［はい］に設定できません。

［V34 OFF］

V.34 モードを解除して通信するかどうかを設定します。

V.34 モードとは、スーパー G3 ファクスの通信方式です。工場出荷時の設定では、V.34 モードで通信が行われます。

構内交換機（PBX）に接続されている場合など、回線状況によってはスーパー G3 ファクス通信ができないことがあります。このような場合は、V.34 モードを解除して通信することをおすすめします。

この機能は、ポーリング受信機能とは同時に使用できません。

［宛先確認送信］

宛先確認送信機能を使用するかどうかを設定します。

宛先確認送信機能を使用すると、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較し、一致した場合だけ送信されます。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。

この機能を使用するためには、相手先に自局のファクス番号が登録されている必要があります。

送信機能の設定をする（G3 ファクス）

［設定］－［通信設定］－［送受信方法設定］では、G3 ファクスの送信機能の設定をします。

［タイマー通信］

読込んだ原稿をメモリーに保存しておき、指定した時刻に送信できます。リダイアルを含め 16 件まで予約できます。

タイマー送信機能を使用する場合は、［はい］を押し、送信を開始する時刻をテンキーで指定します。時刻は時、分単位で指定します。

あらかじめ本機の日付と時刻を正しく設定しておく必要があります。日付と時刻の設定については、［プリンター / コピー / スキャナーユーザーズガイド］をごらんください。

この機能は、ポーリング受信機能、インターネットファクス送信機能とは同時に使用できません。

操作パネルの［C］キーを押すと、入力した内容をすべて削除できます。

指定した送信開始時刻に本機の電源がオフの場合は、電源をオンにしたときに送信されます。

送信を中止する方法については、「送信を中止する」（p.97）をごらんください。

［パスワード送信］

パスワードによって通信相手を限定している相手先に送信できます。

送信側と受信側に設定されているパスワードを照合し、双方のパスワードが一致した場合だけ通信が行われます。相手先に設定されている閉域受信パスワードをあらかじめ確認してください。

パスワード送信機能を使用する場合は、［はい］を押し、相手先に設定されているパスワードをテンキーで入力します。

操作パネルの［C］キーを押すと、入力した内容をすべて削除できます。

この機能は、F コード送信機能、ポーリング受信機能とは同時に使用できません。

［F コード送信］

F コードに対応した相手先の特定のボックスに送信できます。

F コード送信機能を使用する場合は、［はい］を押します。［SUB アドレス］および［送信 ID］を選択し、テンキーでそれぞれ入力します。

F コードで指定できるボックスには、以下の種類があります。

- 親展ボックス
  相手先の親展ボックスに送信した文書は、親展ボックスのパスワードを知る特定の人だけが閲覧できます。
  相手先の親展ボックスに送信する場合は、［SUB アドレス］に親展ボックスのボックス番号、［送信 ID］に親展ボックスのパスワードを入力します。
- 中継ボックス
  相手先の中継ボックスに送信した文書は、中継ボックスに登録されている配信先に自動的に送信されます。
  相手先の中継ボックスに送信する場合は、［SUB アドレス］に中継ボックスのボックス番号、［送信 ID］に中継ボックスのパスワードを入力します。

この機能を使用するためには、相手先が F コードに対応している必要があります。

親展ボックスに送信するためには、相手先に親展ボックスが登録されている必要があります。

中継ボックスに送信するためには、中継機となる相手先に中継ボックスが登録されている必要があります。本機を中継機として使用することはできません。

この機能は、パスワード送信機能、ポーリング受信機能とは同時に使用できません。

操作パネルの［C］キーを押すと、入力した内容をすべて削除できます。

E-mail 情報を設定する（インターネットファクス）

［設定］－［通信設定］－［E-mail 設定］では、インターネットファクスの文書名、E-mail の件名と本文、差出人（From）アドレスを設定します。

項目	説明
［文書名］	インターネットファクスの文書名を入力します。
［件名］	E-mail の件名を指定します。 ［直接入力］を押すと、件名を入力できます。また、登録されている件名を選択することもできます。
［From］	差出人の E-mail アドレスを指定します。 ［管理者アドレス］、［ユーザーアドレス］、［直接入力］のいずれかを選択します。 ［管理者アドレス］は、管理者の E-mail アドレスが登録されている場合に選択できます。 ［ユーザーアドレス］は、認証中のユーザーの E-mail アドレスが登録されている場合に選択できます。
［本文］	E-mail の本文を指定します。 ［直接入力］を押すと、本文を入力できます。また、登録されている本文を選択することもできます。 ［詳細］を押すと、本文の内容を確認できます。

E-mail の件名と本文は、PageScope Web Connection からも登録できます。詳しくは、［リファレンスガイド］をごらんください。

送信原稿の設定をする

［設定］－［原稿設定］では、送信する原稿の設定をします。

［読込みサイズ］

送信する原稿のサイズを設定します。

項目	説明
［定形サイズ］	定形の原稿サイズを指定します。 ［定形サイズ］を押し、表示された定型サイズから原稿サイズを選択します。
［不定形サイズ］	［不定形サイズ］を押すと、原稿サイズを指定する画面が表示されます。［X］辺または［Y］辺を選択し、［＋］、［－］またはテンキーを押してサイズを指定します。

［長尺原稿］

長尺原稿を送信するかどうかを設定します。1000 mm までの長さの原稿を送信できます。

長尺原稿は ADF から読込みます。両面原稿の読込みはできません。

［片面 / 両面］

ADF を使用する場合、両面原稿を読込むかどうかを設定します。

項目	説明
［片面］	片面原稿を読込む場合に選択します。
［両面］	両面原稿を読込む場合に選択します。
［表紙＋両面］	表紙と両面原稿を読込む場合に選択します。表紙（原稿の 1 枚目）は表面だけ読込み、2 枚目以降は表裏を読込みます。

[開き方向 / とじ方向]

ADF を使用して両面原稿を読込む場合に、原稿のとじ方向を設定します。

両面原稿のとじ方向には、上とじと左とじがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。

項目	説明
[左とじ]	左開きに設定します。横にめくるレイアウトの場合に選択します。
[上とじ]	上開きに設定します。縦にめくるレイアウトの場合に選択します。
[自動]	原稿のとじ方向が自動的に設定されます。 原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじ方向が設定されます。 原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじ方向が設定されます。

複数の宛先に一度に送信する（同報送信）

同報送信機能によって、同じ原稿を複数の宛先に一度の操作で送信できます。

送信時に目的の宛先をすべて指定することで、同じ原稿がすべての宛先に順次送信されます。タイマー送信機能と組み合わせて同報送信の開始時刻を指定することもできます。

同報送信する場合は、次の方法で宛先を指定します。

■ 登録宛先から指定する（500 件まで）（p.79）

■ 直接入力して指定する（LDAP 検索の宛先と合わせて 100 件まで）（p.80）

■ LDAP 検索して指定する（直接入力の宛先と合わせて 100 件まで）（p.82）

■ グループ宛先を指定する（p.79）

■ プログラム宛先を指定する（p.93）

宛先の登録方法については、「宛先を登録する」（p.153）をごらんください。

同報送信の結果は同報送信結果レポートから確認できます、詳しくは、「同報送信結果レポート」（p.168）をごらんください。

同報送信の宛先に G3 ファクスとインターネットファクスの宛先が含まれる場合は、原稿を［高精細］（400 × 400 dpi）の解像度で送信することはできません。

同報送信の宛先に G3 ファクスとインターネットファクスの宛先が含まれる場合は、タイマー送信機能を使用できません。

インターネットファクスは、LDAP 検索に対応していません。

プログラム宛先を指定して送信する

あらかじめ本機に登録されているプログラム宛先を指定して送信できます。

プログラム宛先には、宛先情報（短縮宛先、グループ宛先）とファクスの送受信に関する設定を組み合わせて登録できるため、その都度細かな設定をせずに送信できます。

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。
   – ファクスモードの初期画面については、「ファクスモードの初期画面」（p.30）をごらんください。

2 原稿をセットします。
   – 原稿のセットのしかたについては、「原稿をセットする」（p.76）をごらんください。

3 ［プログラム］キーを押します。

4 一覧から目的のプログラム宛先を指定し、［OK］を押します。
   宛先情報とファクスの送受信に関する設定が呼び出されます。

5 ［スタート］キーを押します。
   すべての原稿の読込みが終了すると、ファクスの送信が開始されます。

プログラム宛先の登録方法については、「プログラム宛先を登録する」（p.158）をごらんください。

同報送信の宛先に G3 ファクスとインターネットファクスの宛先が含まれる場合は、原稿を［高精細］（400 × 400 dpi）の解像度で送信することはできません。

同報送信の宛先に G3 ファクスとインターネットファクスの宛先が含まれる場合は、タイマー送信機能を使用できません。

手動で送信する（G3 ファクス）

手動で相手先にダイアルし、相手先の状態を確認してから送信できます。

手動送信には以下の制限があります。

■ ［連続読込み設定］は使用できません。

■ F コード送信機能、パスワード送信機能、ポーリング受信機能は使用できません。

■ オートリダイアル機能ははたらきません。

■ 同報送信はできません。

［管理者設定］－［ファクス設定］－［ファクス機能設定］－［宛先 2 度入力機能（送信）］が［する］に設定されている場合は、ファクスを手動送信することはできません。

操作パネルからの操作

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。
   – ファクスモードの初期画面については、「ファクスモードの初期画面」（p.30）をごらんください。

2 原稿をセットします。
   – 原稿のセットのしかたについては、「原稿をセットする」（p.76）をごらんください。

3 必要に応じて、［設定］の各項目を設定します。
   – ［読込み設定］については、「読込み条件を設定する」（p.83）をごらんください。
   – ［通信設定］については、「通信回線の設定をする（G3 ファクス）」（p.86）、「送信機能の設定をする（G3 ファクス）」（p.87）をごらんください。
   – ［原稿設定］については、「送信原稿の設定をする」（p.90）をごらんください。

4 ［オフフック］を押します。

5 ［送信］が選択されていることを確認します。

6 ファクス番号を入力します。
   – を押すと、登録宛先から指定できます。入力したファクス番号と組み合わせることもできます。
   – ［プログラム］キーを押すと、プログラム宛先から指定できます。入力したファクス番号と組み合わせることもできます。

7 応答音が聞こえたら、［開始］または［スタート］キーを押します。
   ファクスの送信が開始されます。

外付け電話機からの操作

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。
   – ファクスモードの初期画面については、「ファクスモードの初期画面」（p.30）をごらんください。

2 原稿をセットします。
   – 原稿のセットのしかたについては、「原稿をセットする」（p.76）をごらんください。

3 必要に応じて、［設定］の各項目を設定します。
   – ［読込み設定］については、「読込み条件を設定する」（p.83）をごらんください。
   – ［通信設定］については、「通信回線の設定をする（G3 ファクス）」（p.86）、「送信機能の設定をする（G3 ファクス）」（p.87）をごらんください。
   – ［原稿設定］については、「送信原稿の設定をする」（p.90）をごらんください。

4 受話器を取って、発信音が 聞こえることを確認します。

5 ファクス番号をダイアルします。
   – 操作パネルからでもファクス番号を指定できます。

6 相手先と通話し、ファクス受信の準備をしてもらいます。

7 応答音が聞こえたら、［開始］または［スタート］キーを押します。
ファクスの送信が開始されます。

8 受話器を戻します。

自動的にリダイアルする（G3 ファクス）

通話中や通信エラーなどでファクスが正常に送信されなかった場合は、オートリダイアル機能によって所定時間経過後に自動的にリダイアル（再送信）されます。

必要に応じて、オートリダイアルの実行回数や実行間隔を設定できます。設定内容の詳細は、「[通信設定]」（p.58）をごらんください。

手動送信の場合は、オートリダイアル機能ははたらきしません。

正常に送信されなかったファクスは、オートリダイアル機能によって待機中の送信ジョブとなります。待機中の送信を中止したい場合は、「送信を中止する」（p.97）をごらんください。

リダイアルを行っても正常に送信されない場合は、「送信時のトラブル」（p.174）をごらんください。

送信を中止する

オートリダイアル機能やタイマー送信機能によって待機中のファクス送信を中止したい場合は、ジョブ画面から待機中の送信ジョブを削除します。

1 ホーム画面で［ジョブ］を押します。
   – ホーム画面については、「ホーム画面」（p.28）をごらんください。

2 ［送信］を押します。
   待機中の送信ジョブの一覧が表示されます。

3 削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。

4 ［はい］を押し、［OK］を押します。
   待機中の送信ジョブが削除されます。

ジョブ画面について詳しくは「送受信ジョブを確認する」（p.160）をごらんください。

発信元情報を付加する

相手先の受信文書のヘッダーに印刷される情報を発信元情報といいます。

本機から送信するファクスに発信元情報を付加することで、本機の名前や送信日時などを相手先に知らせることができます。

発信元情報の印刷に関する設定については、「[ヘッダー / フッター設定]」（p.57）をごらんください。

G3 ファクスの場合

発信元情報として以下の情報が印刷されます。

■ 発信元名

■ 相手先のファクス番号または発信元のファクス ID

■ 送信開始日時

■ 通信番号

■ ページ番号／総ページ数

発信元情報として付加する本機の名前やファクス ID の設定については、「[発信元設定]」（p.56）をごらんください。

手動送信の場合は、総ページ数が印刷されません。

インターネットファクスの場合

発信元情報として以下の情報が印刷されます。

■ 差出人の E-mail アドレス

■ 送信開始日時

■ 通信番号

■ ページ番号／総ページ数

ファクスを受信する

G3 ファクスを受信する

本機では以下の受信方式を利用できます。ご使用の環境に合わせて設定してください。

- 自動受信（p.100）
- 手動受信（p.101）
- TEL/FAX 自動切換え（p.102）
- 留守番電話接続（p.104）

本機の電源をオフにすると、ファクスを受信できません。必ず電源をオンのままにしておいてください。

自動受信

ファクス専用で回線を使用する場合に、この方式を選択します。一定回数の呼び出し音が鳴ると、ファクスを自動的に受信します。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

- ［通信設定］－［受信方式］:［自動受信］
- ［通信設定］－［着信回数設定］: 受信を開始するまでの呼び出し音の回数

設定内容の詳細は、「［通信設定］」（p.58）をごらんください。

手動受信

外付け電話機の接続時に電話としての使用を優先する場合や、リモート受信機能を使用する場合に、この方式を選択します。

着信後に、操作パネルまたは電話機から本機に対して、ファクス受信を開始するように指示します。

電話：　受話器を取って会話

ファクス：操作パネルから受信指示または電話機から受信指示

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

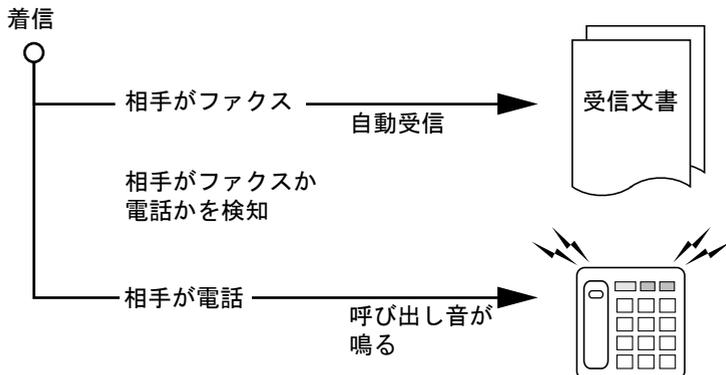
- ［通信設定］－［受信方式］:［手動受信］
- ［通信設定］－［手動受信時 V.34 OFF］: 手動受信時に V.34 モードを自動的に解除するかどうか

設定内容の詳細は、「［通信設定］」（p.58）をごらんください。

操作パネルからの操作

1 電話機のベルが鳴ったら、ファクスモードの初期画面の［オフフック］を押します。

2 ［受信］を押します。

3 ［開始］または［スタート］キーを押します。
ファクスの受信が開始されます。

外付け電話機からの操作

外付け電話機からの操作については、「リモート受信（G3 ファクス）」（p.109）をごらんください。

TEL/FAX 自動切換え

外付け電話機の接続時にファクス受信を優先する場合に、この方式を選択します。

相手先がファクスの場合は自動的に受信します。電話の場合は電話機の呼び出し音が鳴ります。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

■ ［通信設定］－［受信方式］:［TEL/FAX 自動切換え］

■ ［通信設定］－［外部 TEL 呼出時間］: 電話機の呼び出し音を鳴らす時間の長さ

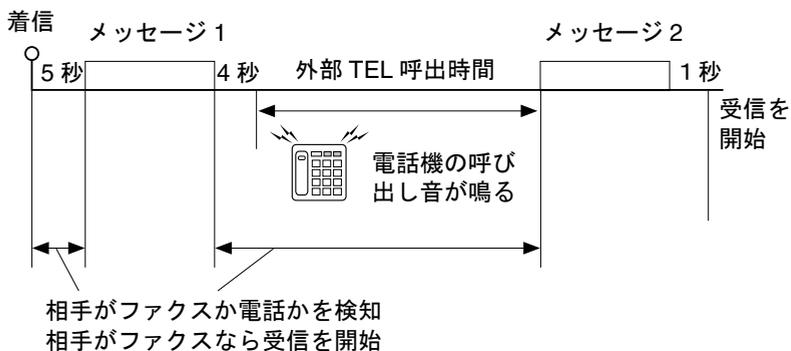
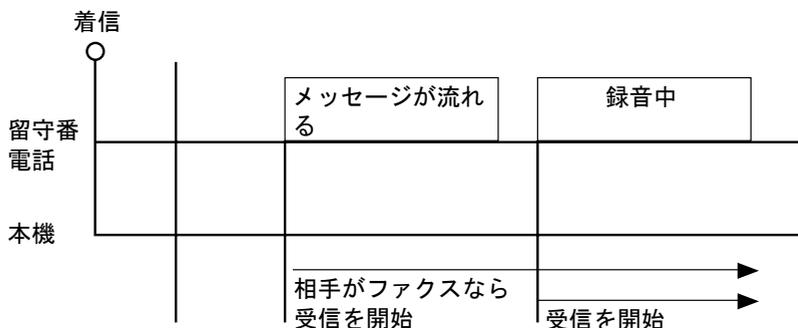
設定内容の詳細は、「［通信設定］」（p.58）をごらんください。

相手先がファクスの場合

ファクスを自動的に受信します。

受話器を取った場合は、受話器を取ったまま操作パネルの［スタート］キーを押すと受信を開始できます。

相手先が電話の場合

電話機の呼び出し音が鳴ります。呼び出し音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。

電話機の呼び出し音が鳴っている間、相手先に対して以下の音声メッセージが流れます。

- メッセージ1 :「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」
- メッセージ2 :「ただいま近くにおりません。ファクスに切換えます。」

留守番電話接続

留守番電話を接続する場合に、この方式を選択します。

相手先が電話の場合は留守番電話のメッセージが流れます。ファクスの場合は自動的に受信します。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

■ ［通信設定］－［受信方式］：［留守番電話接続］

■ ［通信設定］－［外部 TEL 呼出時間］：電話機の呼び出し音を鳴らす時間の長さ

設定内容の詳細は、「［通信設定］」（p.58）をごらんください。

留守番電話の応答が開始されるまでの時間よりも、［外部 TEL 呼出時間］が長くなるように設定してください。［外部 TEL 呼出時間］の方が短いと、留守番電話の応答が開始される前に本機がファクスモードに切換わってしまい、留守番電話を使用できません。

インターネットファクスを受信する

本機は一定の時間間隔で POP サーバーに接続し、E-mail が届いているかどうかを確認します。

E-mail が届いていた場合は、E-mail に添付されているインターネットファクス文書が自動的に印刷されます。

インターネットファクスを受信するためには、あらかじめ PageScope Web Connection から E-mail の受信設定をしておく必要があります。設定内容の詳細は、［リファレンスガイド］をごらんください。

受信したインターネットファクスの解像度によっては受信エラーとなる場合があります。本機が対応している受信解像度については、「技術仕様」（p.186）をごらんください。

インターネットファクスの件名と本文は印刷されません。

強制メモリ受信機能または PC ファクス受信機能を使用している場合、受信したインターネットファクス文書は本機のメモリーに保存されます。

インターネットファクスの受信に失敗した場合は受信エラーレポートが印刷されます。詳しくは、「I-Fax 受信エラーレポート」（p.171）をごらんください。

受信機能の設定をする

本機で利用できるファクスの受信機能を説明します。

ポーリング受信（G3 ファクス）

相手先に蓄積されている原稿を、本機からの操作によって送信させることができます。相手先の掲示板番号を指定して掲示板に登録されている原稿を送信させることもできます。

ポーリング受信機能を使用する場合、電話料金は受信側の負担となります。

この機能は、ECM OFF、V34 OFF、パスワード送信機能、F コード送信機能、インターネットファクス送信機能とは同時に使用できません。

複数の宛先を指定してポーリング受信することはできません。

相手先の掲示板を指定するためには、相手先に掲示板が登録されている必要があります。

ポーリング受信のしかた

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。

2 宛先を指定します。

3 ［設定］を押します。

4 ［通信設定］を押します。

5 ［送受信方法設定］を押します。

6 ［ポーリング受信］を押します。

7 受信方法を選択します。
   - 相手先のポーリング原稿を受信する場合は、［ポーリング受信］を押します。
   - 相手先の掲示板に登録されている原稿を受信する場合は、［掲示板］を押し、テンキーで相手先の掲示板番号を入力します。

8 ［OK］を押します。

9 操作パネルの［スタート］キーを押します。
   ポーリング受信が開始されます。

強制メモリ受信（G3 ファクス／インターネットファクス）

受信文書を直接印刷せずに、パスワードで保護された本機のメモリーに強制的に保存できます。

メモリーから必要な文書だけを印刷することで、セキュリティーを強化し、印刷コストを削減できます。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

- ［強制メモリ受信］－［強制メモリ受信］:［する］
- ［強制メモリ受信］－［パスワード］: 本機のメモリーのパスワード

設定内容の詳細は、「［強制メモリ受信］」（p.64）をごらんください。

この機能は、PC ファクス受信機能、転送ファクス機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

メモリーに保存された文書を印刷する

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。

2 ［拡張］を押します。

3 ［強制メモリ受信］を押します。

4 パスワードを入力し、［OK］を押します。
本機のメモリーに保存されている文書の一覧が表示されます。

5 印刷したい文書を選択し、［印刷］を押します。
– 文書を削除したい場合は、削除したい文書を選択して［削除］を押します。

選択した文書が印刷されます。

印刷された文書はメモリーから消去されます。

メモリーに保存された文書をPageScope Web Connectionから利用することもできます。詳しくは、［リファレンスガイド］をごらんください。

閉域受信（G3 ファクス）

パスワードによって通信相手を限定できます。

送信側と受信側に設定されているパスワードを照合し、双方のパスワードが一致した場合だけ通信が行われます。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

- ［閉域受信パスワード］－［使用設定］:［はい］
- ［閉域受信パスワード］－［パスワード］: 閉域受信のパスワード

閉域受信機能を使用するためには、相手先がパスワード送信機能に対応している必要があります。

設定内容の詳細は、「［閉域受信パスワード］」（p.65）をごらんください。

転送ファクス（G3 ファクス／インターネットファクス）

受信文書をあらかじめ指定した宛先（ファクス機、E-mail 宛先）に自動転送できます。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

- ［転送ファクス設定］－［使用設定］:［はい］
- ［転送ファクス設定］－［転送先］: 転送先のアドレス
- ［転送ファクス設定］－［常時印刷設定］: 受信文書を転送すると同時に本機で印刷するかどうか

設定内容の詳細は、「［転送ファクス設定］」（p.65）をごらんください。

転送先としてインターネットファクス宛先を指定することはできません。

解像度が 300 × 300 dpi のインターネットファクス文書を受信した場合は、ファクス機への転送ができません。その場合、転送失敗となり本機で印刷されます。

この機能は、PC ファクス受信機能、強制メモリ受信機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

リモート受信（G3 ファクス）

外付け電話機の接続時に、電話機からリモート受信番号をダイアルすることで、本機に対してファクス受信を開始するように指示できます。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

- ［通信設定］－［受信方式］:［手動受信］
- ［リモート受信設定］－［リモート受信有効設定］:［する］
- ［リモート受信設定］－［リモート受信番号］: ファクス受信を指示するリモート受信番号

設定内容の詳細は、「［通信設定］」（p.58）および「［リモート受信設定］」（p.66）をごらんください。

リモート受信のしかた

1 電話機のベルが鳴ったら受話器を取って、相手先がファクスであることを確認します。

2 電話機からリモート受信番号をダイアルします。
ファクスの受信が開始されます。

3 受話器を戻します。

ダイアル回線でご使用の場合、電話機でパルスをトーンに切換える必要があります。詳しくは、電話機の取扱説明書をごらんください。

夜間受信（G3 ファクス／インターネットファクス）

夜間時間帯に受信したファクスの印刷を禁止できます。夜間時間帯に受信したファクスは、夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

- ［夜間受信設定］－［夜間受信使用設定］:［する］
- ［夜間受信設定］－［夜間受信開始時刻］: 夜間時間帯の開始時刻
- ［夜間受信設定］－［夜間受信終了時刻］: 夜間時間帯の終了時刻

設定内容の詳細は、「［夜間受信設定］」（p.67）をごらんください。

この機能は、PC ファクス受信機能、強制メモリ受信機能、転送ファクス機能とは同時に使用できません。

受信文書の記録について

印刷用紙サイズの決定方法

工場出荷時の設定では、受信文書の幅と長さを基に印刷用紙サイズが自動的に決定されます。ここでは、受信文書の印刷用紙サイズの決定方法を説明します。

受信文書の印刷用紙の設定については、「[機能設定]」（p.61）をごらんください。

ステップ 1：最適用紙サイズの決定

受信文書の印刷に最適な用紙サイズが以下の規則で決定されます。ここで決定された最適用紙サイズを基に、ステップ 2 で印刷用紙サイズが決定されます。

受信文書の幅	[インチ系用紙優先選択] の設定値	[受信情報] の設定値	受信文書の長さ	最適用紙サイズ
A4 幅（固定）	[しない]	[受信情報 OFF] または [本文中テキスト]	1000 mm 以下	A4
		[原稿外]	1000 mm 以下	A4
	[する]	[受信情報 OFF] または [本文中テキスト]	292 mm 以下	レター
			293 ～ 1000 mm	リーガル
		[原稿外]	284 mm 以下	レター
			285 ～ 1000 mm	リーガル

ステップ 2：印刷用紙サイズの決定

ステップ 1 で決定された最適サイズの用紙が給紙トレイにセットされているかどうかによって、実際に印刷される用紙サイズが異なります。

■ 最適サイズの用紙がセットされている場合は、最適サイズの用紙に印刷されます。

■ 最適サイズの用紙がセットされていない場合は、以下の表の上から順番に印刷用紙サイズが決定されます。

最適用紙サイズ	A4	レター	リーガル
印刷用紙サイズ	A4	レター	リーガル
		A4	レター
		リーガル	A4

印刷用紙が給紙トレイにセットされていない場合は、用紙のセットを促すメッセージが表示されます。

給紙トレイの自動トレイ切換え機能の設定によっては、最適用紙サイズに印刷されません。自動トレイ切換え機能の設定については、［プリンター / コピー / スキャナー ユーザーズガイド］をごらんください。

縮小と分割の動作について

受信文書を印刷するときの縮小とページ分割の動作について説明します。以下の設定によって、動作が異なります。

受信文書の印刷に関する設定については、「[機能設定]」（p.61）をごらんください。

[給紙トレイ固定]：給紙トレイが固定されている場合

■ 受信文書のサイズが給紙トレイにセットされている用紙サイズと同じか、短いサイズの場合は、設定されている縮小率（87% ～ 96%）で 縮小されます。

■ 受信文書のサイズが給紙トレイにセットされている用紙サイズよりも長いサイズの場合は、自動的に縮小（75% ～ 96%）されます。75% まで縮小しても収まらない場合は、はみ出た部分が切り捨てられます。

■ ページ分割は行われません。

［受信印刷縮小率］：［100%］（等倍）に設定されている場合

- ページ分割は行われません。
- 縮小は行われません。
- ［給紙トレイ固定］は［自動］に設定されます。
- 受信長 20 mm の長さが収まる用紙に等倍で印刷され、20mm までの後端画像が切り捨てられます。20 mm を超えた場合は、次に大きなサイズの用紙に印刷されます。

［ページ分割記録］：［しない］に設定されている場合

- 自動的に縮小（75% ～ 96%）されます。75% まで縮小しても収まらない場合は、はみ出た部分が切り捨てられます。
- 縦横比を維持したまま主走査方向と副走査方向が縮小されます。
- 印刷用紙の方向と自動選択された用紙の方向が一致しない場合でも、自動的に 90 度回転して印刷されません。

［ページ分割記録］：［する］に設定されている場合

- 設定されている縮小率（87% ～ 96%）で 縮小されます。1 ページに収まらない場合は、次ページに分割されます。
- ページ分割によって他ページとの重複部分が生じることはありません。

以下のように設定されている場合は、ページ分割は行われません。

- ［給紙トレイ固定］：給紙トレイを固定
- ［受信印刷縮小率］：［100%］
- ［記録用紙優先選択］：［サイズ固定］または［サイズ優先］
- ［受信原稿両面印刷］：［する］

受信情報を付加する

本機の受信文書のフッターに印刷される情報を受信情報といいます。

本機が受信するファクスに受信情報を付加することで、受信日時や受信文書のページ数などを把握することができます。

受信情報として以下の情報が印刷されます。

■ 受信日時

■ 通信番号

■ ページ番号／総ページ数

受信情報の印刷に関する設定については、「[ヘッダー / フッター設定]」（p.57）をごらんください。

PC ファクスを送受信する

6

PC ファクスを送信する

ファクスドライバーを使用してコンピューターから G3 ファクスを直接送信できます。この機能を PC ファクス送信といいます。

PC ファクス送信機能を使用するためには、あらかじめコンピューターにファクスドライバーをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、［インストレーションガイド］をごらんください。

ファクスドライバーは IPP（Internet Printing Protocol）には対応していません。

PC ファクス送信の基本操作

PC ファクス送信の基本的な操作を説明します。

1 アプリケーションソフトウェアを起動し、送信するデータを準備します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 ［プリンタ名］リストからインストールした［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］を選択します。

4 必要に応じて［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックし、ドライバーの機能を設定します。
   – 設定内容の詳細は、「印刷設定画面」（p.131）をごらんください。
   – 変更したドライバーの機能の設定は、アプリケーションソフトウェアを終了すると元に戻ります。

5 ［印刷］をクリックします。
［FAX 送信ポップアップ］画面が表示されます。

6 送付先の個人情報を指定します。

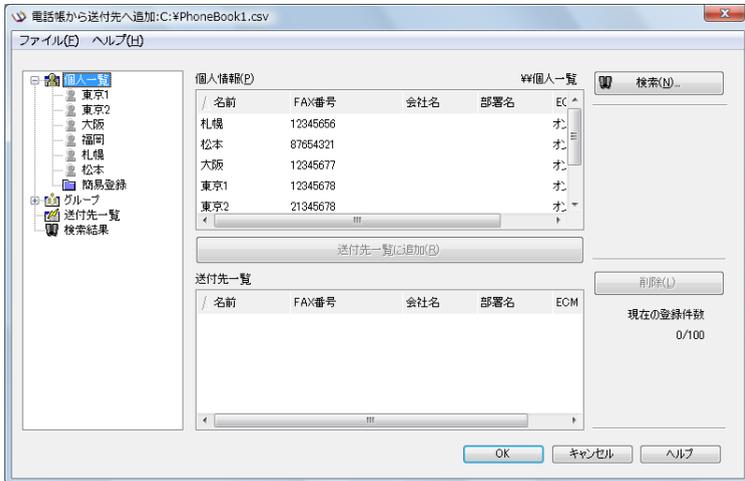
- ［名前］：80 文字まで入力できます。
- ［FAX 番号］：0 ～ 9 までの数字と、ハイフン（-）、#、*、P、T が半角 38 文字まで入力できます。海外へ送信する場合は、はじめに国番号を入力してください。
- ［ECM］：ECM モードを解除して送信するかどうかを設定します。［V.34］がオンの場合は、ECM モードをオフにできません。
- ［V.34］：V.34 モードを解除して送信するかどうかを設定します。スーパー G3 ファクス通信ができない場合にオフにします。
- ［電話帳から追加］：電話帳から送付先を指定できます。電話帳については、「送付先を電話帳から指定する」（p.119）をごらんください。
- ［短縮宛先から追加］：本機に登録されている短縮宛先から送付先を指定できます。詳しくは、「送付先を短縮宛先から指定する」（p.120）をごらんください。
- ［電話帳へ登録］：［名前］と［FAX 番号］に直接入力した情報を電話帳の［簡易登録］フォルダーへ登録できます。ただし、電話帳が登録されていない場合は登録できません。電話帳については、「電話帳を利用する」（p.146）をごらんください。

7 ［送付先一覧に追加］をクリックします。

- 送付先が複数の場合は、手順 6 ～ 7 の操作を繰り返します。100 件まで追加できます。
- 追加した送付先を取り消したいときは、取り消したい送付先を選択して［一覧から削除］をクリックします。

8 必要に応じて［FAX モード設定詳細］と［FAX カバーシート］を設定します。

- 設定内容の詳細は、「送信機能の設定をする」（p.122）および「送信データに送付状を付加する」（p.123）をごらんください。

9 ［OK］をクリックします。
ファクスデータが本機経由で送信されます。

送付先を電話帳から指定する

［FAX 送信ポップアップ］画面の［電話帳から追加］をクリックすると、電話帳から送付先を指定できます。

電話帳から指定する場合は、あらかじめ送付先の個人情報を電話帳に登録してください。登録方法については、「電話帳を利用する」（p.146）をごらんください。

1 ［FAX 送信ポップアップ］画面で［電話帳から追加］をクリックします。

2 電話帳左側のリストから［個人一覧］や［グループ］を選択し、目的の送付先を［個人情報］一覧に表示させます。

– ［検索］をクリックすると、検索条件を設定して送付先を検索できます。検索結果が、［個人情報］一覧に表示されます。

3 ［個人情報］一覧から送付先を選択し、［送付先一覧に追加］をクリックします。

– 送付先は 100 件まで追加できます。

– 追加した送付先を取り消したいときは、取り消したい送付先を選択して［削除］をクリックします。

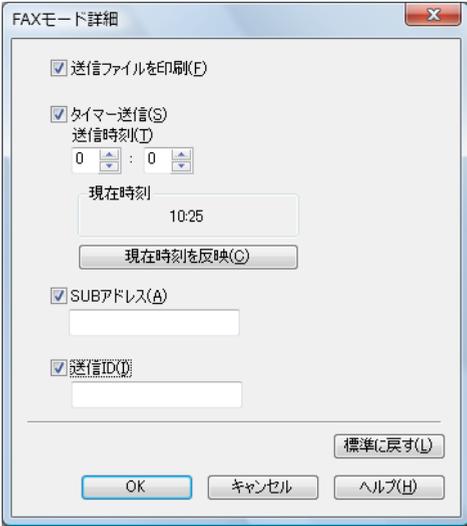
– 送付先をグループにまとめて登録してある場合、グループ名を選択して［送付先一覧に追加］をクリックすると、全メンバーが追加されます。

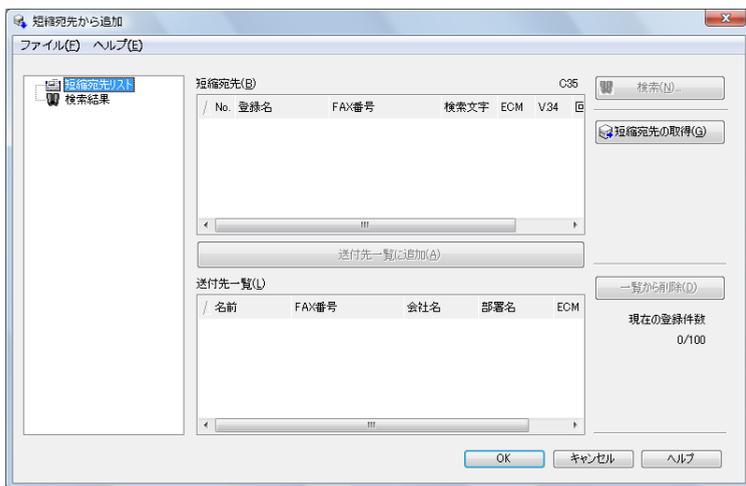
4 ［OK］をクリックします。
［FAX 送信ポップアップ］画面に戻ります。

送付先を短縮宛先から指定する

［FAX 送信ポップアップ］画面の［短縮宛先から追加］をクリックすると、本機に登録されている短縮宛先から送付先を指定できます。

本機とコンピューターが通信できない場合は、本機から短縮宛先の情報を取得することができません。本機とコンピューターが通信可能な状態で使用してください。

短縮宛先から指定する場合は、あらかじめ本機に短縮宛先を登録してください。登録方法については、「短縮宛先を登録する」（p.155）をごらんください。

1 ［FAX 送信ポップアップ］画面で［短縮宛先から追加］をクリックします。

2 画面左側のリストから［短縮宛先リスト］を選択し、目的の送信先を［短縮宛先］一覧に表示させます。
   – ［短縮宛先の取得］をクリックすると、本機と通信して短縮宛先の情報を取得します。
   – ［検索］をクリックすると、検索条件を設定して送付先を検索できます。検索結果が、［短縮宛先］一覧に表示されます。

3 ［短縮宛先］一覧から送付先を選択し、［送付先一覧に追加］をクリックします。

– 送付先は 100 件まで追加できます。
– 追加した送付先を取り消したいときは、取り消したい送付先を選択して［一覧から削除］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。
［FAX 送信ポップアップ］画面に戻ります。

送信機能の設定をする

［FAX 送信ポップアップ］画面の［FAX モード設定詳細］をクリックすると、ファクスの送信機能を設定できます。

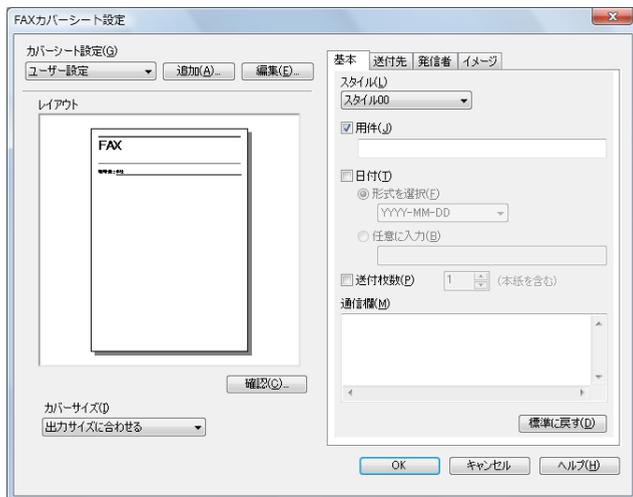
項目	説明
［送信ファイルを印刷］	ファクスを送信したあと、本機で送信ファイルを印刷するかどうかを設定します。
［タイマー送信］	タイマー送信機能を使用する場合は、［送信時刻］を指定します。指定した時刻に本機からファクスが送信されます。 ［現在時刻を反映］をクリックすると、コンピューターの現在の時刻が［送信時刻］に反映されます。
［SUB アドレス］	F コード送信機能を使用する場合は、相手先ボックスのボックス番号を指定します（半角数字 20 桁以内）。
［送信 ID］	F コード送信機能を使用する場合は、相手先ボックスのパスワードを指定します（半角数字、#、* で 20 桁以内）。

タイマー送信機能を使用する場合、コンピューターの時刻と本機の時刻が一致していることを確認してください。本機の時刻が指定された送信時刻を過ぎていた場合、翌日に送信されます。

送信データに送付状を付加する

［FAX 送信ポップアップ］画面の［FAX カバーシート］をオンにすると、PC ファクスの送信データにカバーシートを付加することができます。

［設定］をクリックすると、カバーシートの内容を設定できます。

設定画面

項目	説明
［カバーシート設定］	送信データに付けるカバーシートの設定を呼び出します。 ［追加］をクリックすると、現在のカバーシートの設定を保存できます。 ［編集］をクリックすると、選択しているカバーシートの設定を編集できます。
［確認］	カバーシートの詳細なプレビュー画像を確認できます。
［カバーサイズ］	カバーシートのサイズを指定します。

項目	説明
［基本］タブ	カバーシートのスタイルや、カバーシートに記載する用件などを設定します。 設定内容の詳細は、「［基本］タブ」（p.125）をごらんください。
［送付先］タブ	カバーシートに記載する送付先の情報を設定します。 設定内容の詳細は、「［送付先］タブ」（p.127）をごらんください。
［発信者］タブ	カバーシートに記載する発信者の情報を設定します。 設定内容の詳細は、「［発信者］タブ」（p.129）をごらんください。
［イメージ］タブ	カバーシートに貼り付ける画像を指定します。 設定内容の詳細は、「［イメージ］タブ」（p.130）をごらんください。

［基本］タブ

項目	説明
［スタイル］	カバーシートのスタイルを選択します。
［用件］	カバーシートにファクスの用件を記載するかどうかを選択します。 記載する場合は、用件を入力します（64 文字以内）。
［日付］	カバーシートに日付を記載するかどうかを選択します。 記載する場合は、記載のしかたを、［形式を選択］または［任意に入力］から選択します。 ［形式を選択］：日付の記載形式を選択します。日付は自動的に設定されます。 ［任意に入力］：記載する日付を入力します（20 文字以内）。

項目	説明
［送付枚数］	カバーシートにファクスの送付枚数を記載するかどうかを選択します。 記載する場合は、カバーシートを含めた枚数を指定します。
［通信欄］	送付先への連絡事項がある場合は、連絡事項を入力します（640 文字以内）。改行を入れると 2 文字に換算されます。
［標準に戻す］	［基本］タブの設定を初期状態に戻します。

［送付先］タブ

項目	説明
［定型］	「各位」、「関係者各位」などの送付先を特定しない定型の文字列を記載します。
［詳細］	名前、FAX 番号などの送付先の個人情報を記載します。 記載のしかたを［連名で記載］、［送付先毎に変更］、［設定した情報を記載］のいずれかから選択します。
［連名で記載］	送付先一覧に登録されたすべての送付先を連名で記載します。
［送付先毎に変更］	送付先ごとにカバーシートに記載する個人情報を変更します。100 件まで個別にカバーシートを作成できます。

項目		説明
	［設定した情報を記載］	［会社名］、［部署名］、［名前］、［FAX 番号］に入力した情報を記載します（各 80 文字以内）。 ［FAX 送信ポップアップ］画面の［送付先一覧］に送付先が追加されていない場合は、選択できません。 ［読み込み］をクリックすると、［FAX 送信ポップアップ］画面の［送付先一覧］の 1 列目の情報が反映されます。
［標準に戻す］		［送付先］タブの設定を初期状態に戻します。

送付先の名前をカバーシートに記載する場合、敬称は付加されません。敬称を付加したい場合は、［FAX 送信ポップアップ］画面で送付先の名前を指定するときに敬称を付けてください。

［発信者］タブ

項目	説明
［発信者情報設定］	カバーシートに発信者の情報を記載するかどうかを選択します。 記載する場合は、［会社名］、［部署名］、［名前］、［電話番号］、［FAX 番号］、［E-mail］に記載内容を入力します（各 80 文字以内）。
［標準に戻す］	［発信者］タブの設定を初期状態に戻します。

[イメージ] タブ

項目	説明
[イメージを貼り付ける]	カバーシートに画像を貼り付けるかどうかを選択します。 貼り付ける場合は、[参照] をクリックして画像ファイル（BMP 形式）を指定します。
[ズーム]	画像の倍率を 50 ～ 800%の範囲で指定します。
[位置]	画像を貼り付ける位置を指定します。 [X]：用紙の幅を 100 としたときの割合で位置を指定します。 [Y]：用紙の長さを 100 としたときの割合で位置を指定します。
[標準に戻す]	[イメージ] タブの設定を初期状態に戻します。

ファクスドライバーの設定をする

ファクスドライバーの設定は、以下の画面から行います。

■ 印刷設定画面（p.131）

■ プロパティ画面（p.133）

印刷設定画面

印刷設定画面では、ファクスドライバーの機能の設定ができます。印刷設定画面は、以下の手順で表示します。

■ Windows 7/Server 2008 R2 の場合
［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。
［プリンターと FAX］より［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

■ Windows Vista/Server 2008 の場合
［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］をクリックし、プリンタ画面を表示します。
［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

■ Windows XP Home Edition の場合
［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。
［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

■ Windows XP Professional/Server 2003 の場合
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。
［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

■ Windows 2000 の場合
［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックし、プリンタ画面を表示します。
［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［印刷設定］をクリックします。

設定項目

項目	説明
[FAX] タブ	ファクスの送信に関する基本的な設定をします。 設定内容の詳細は、「[FAX] タブの設定」(p.137) をごらんください。
[基本設定] タブ	原稿の向きや用紙サイズの設定をします。 また、本機でユーザー認証や部門認証を行っている場合は、認証情報を設定します。 設定内容の詳細は、「[基本設定] タブの設定」(p.139) をごらんください。
[レイアウト] タブ	印刷する文書のレイアウトを設定します。 設定内容の詳細は、「[レイアウト] タブの設定」(p.141) をごらんください。
[バージョン情報] タブ	ファクスドライバーのバージョンを確認できます。

各タブ共通の項目については、「各タブで共通の項目」(p.135) をごらんください。

プロパティ画面

プロパティ画面では、本機のオプションの装着状況の設定や、ドライバーの初期設定ができます。プロパティ画面は、以下の手順で表示します。

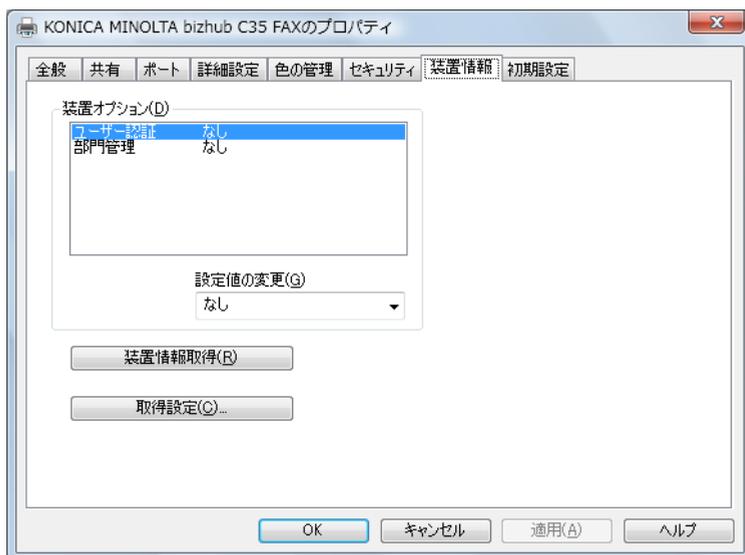
■ Windows 7/Server 2008 R2 の場合
［スタート］メニューから［デバイスとプリンター］をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。
［プリンターと FAX］より［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

■ Windows Vista/Server 2008 の場合
［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］をクリックし、プリンタ画面を表示します。
［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

■ Windows XP Home Edition の場合
［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。
［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

■ Windows XP Professional/Server 2003 の場合
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。
［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

■ Windows 2000 の場合
［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックし、プリンタ画面を表示します。
［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

設定項目

項目	説明
［装置情報］タブ	本機のオプション情報を設定します。 設定内容の詳細は、「［装置情報］タブの設定」（p.142）をごらんください。
［初期設定］タブ	認証時や禁則発生時の初期設定をします。 設定内容の詳細は、「［初期設定］タブの設定」（p.143）をごらんください。

各タブ共通の項目については、「各タブで共通の項目」（p.135）をごらんください。

各タブで共通の項目

ドライバー画面の各タブで共通の設定やボタンについて説明します。

項目	説明
[OK]	変更した設定を適用して、設定画面を閉じます。
[キャンセル]	変更した設定を適用しないで、設定画面を閉じます。
[適用]	変更した設定を適用します。
[ヘルプ]	表示中の画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
[追加]（お気に入り）	現在のドライバー設定を登録します。 登録したドライバー設定はドロップダウンリストから呼び出すことができます。詳しくは、「ドライバー設定を登録して再利用する」（p.144）をごらんください。
[編集]（お気に入り）	登録されているドライバー設定を編集します。 詳しくは、「ドライバー設定を登録して再利用する」（p.144）をごらんください。
[標準に戻す]	各タブの設定を初期状態に戻します。

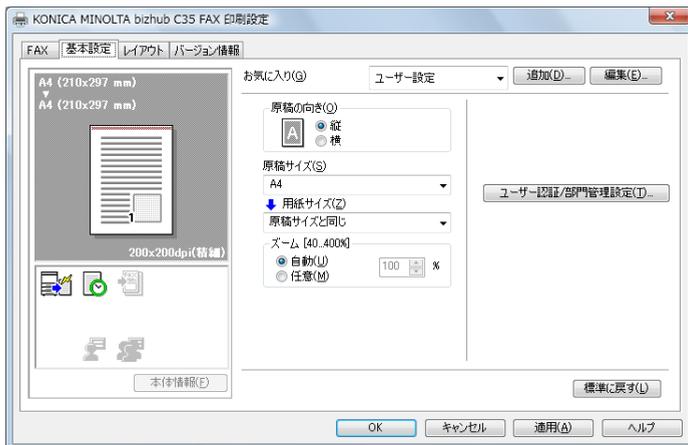
項目	説明
ビュー	現在設定されている内容のイメージを確認できます。 下段に表示されるアイコンから、設定されている機能を確認できます。アイコンの意味については、ヘルプをごらんください。
[本体情報]	PageScope Web Connection が起動し、本機の情報を確認できます。 本機とコンピューターが通信可能な場合に利用できます。

［FAX］タブの設定

項目	説明
［解像度］	ファクスを送信するときの解像度を設定します。 解像度が高いほど情報量が増えるため、通信時間が長くなります。
［送信ファイルを印刷］	ファクスを送信したあと、本機で送信ファイルを印刷するかどうかを設定します。 ［FAX 送信ポップアップ］画面の［FAX モード設定詳細］から設定することもできます。
［タイマー送信］	タイマー送信機能を使用する場合は、［送信時刻］を指定します。指定した時刻に本機からファクスが送信されます。 ［現在時刻を反映］をクリックすると、コンピューターの現在の時刻が［送信時刻］に反映されます。 ［FAX 送信ポップアップ］画面の［FAX モード設定詳細］から設定することもできます。

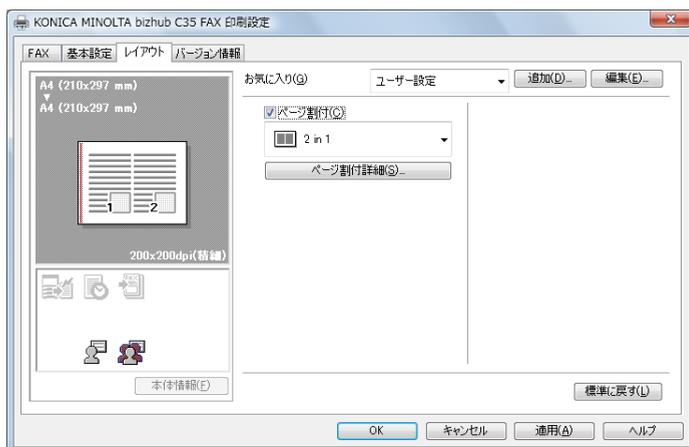
項目	説明
［SUB アドレス］	F コード送信機能を使用する場合は、相手先ボックスのボックス番号を指定します（半角数字 20 桁以内）。 ［FAX 送信ポップアップ］画面の［FAX モード設定詳細］から設定することもできます。
［送信 ID］	F コード送信機能を使用する場合は、相手先ボックスのパスワードを指定します（半角数字、#、* で 20 桁以内）。 ［FAX 送信ポップアップ］画面の［FAX モード設定詳細］から設定することもできます。
［FAX カバーシート］	送信データにカバーシートを付加するかどうかを設定します。［設定］をクリックすると、カバーシートの内容を設定できます。 ［FAX 送信ポップアップ］画面の［FAX カバーシート］から設定することもできます。
［電話帳の編集］	電話帳を編集します。 詳しくは、「電話帳を利用する」（p.146）をごらんください。

タイマー送信機能を使用する場合、コンピューターの時刻と本機の時刻が一致していることを確認してください。本機の時刻が指定された送信時刻を過ぎていた場合、翌日に送信されます。

［基本設定］タブの設定

項目	説明
［原稿の向き］	送信する原稿の方向を選択します。
［原稿サイズ］	送信する原稿のサイズを選択します。［不定形サイズ］を選択する場合は、［不定形サイズ設定］画面で、任意の用紙サイズを設定します。
［用紙サイズ］	印刷する用紙のサイズを選択します。
［ズーム］	印刷時に拡大縮小するときの倍率を設定します。 ［自動］：印刷する用紙サイズに合わせて倍率が設定されます。 ［任意］：任意の倍率を指定します。
［ユーザー認証 / 部門管理設定］	本機でユーザー認証や部門認証が設定されている場合に、認証情報を設定します。 詳しくは、「［ユーザー認証 / 部門管理設定］画面」（p.140）をごらんください。

［ユーザー認証 / 部門管理設定］の設定をするためには、あらかじめ［装置情報］タブでユーザー認証と部門認証を有効にする必要があります。詳しくは、「［装置情報］タブの設定」（p.142）をごらんください。

［ユーザー認証 / 部門管理設定］画面

項目	説明
［ユーザー認証］	ユーザー認証が設定されている場合は、使用するユーザーを［登録ユーザー］または［パブリックユーザー］から選択します。 登録ユーザーの場合は、ユーザー名（半角 64 文字、全角 32 文字以内）とパスワード（半角 64 文字以内）を入力します。 外部サーバーによってユーザー認証を行う場合は、［ユーザー認証サーバー設定］をクリックして、認証サーバーを指定します。
［部門管理］	部門認証が設定されている場合は、ユーザーが所属する部門名（半角 8 文字以内）とパスワード（半角 8 文字以内）を入力します。
［検証］	入力したユーザー情報と部門情報で認証を行い、認証結果を確認できます。

認証に失敗した場合は、送信ジョブが破棄されます。

本機の PC ファクス送信機能が禁止されている場合は、認証結果に関わらず PC ファクスを送信できません。

［レイアウト］タブの設定

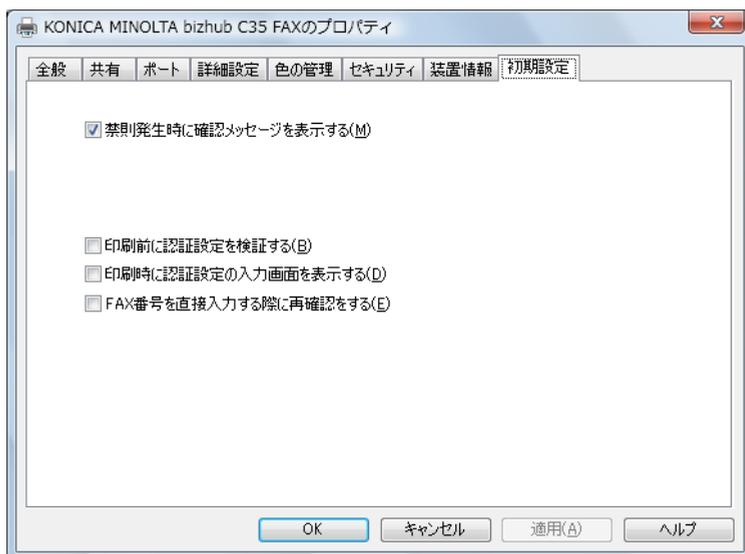
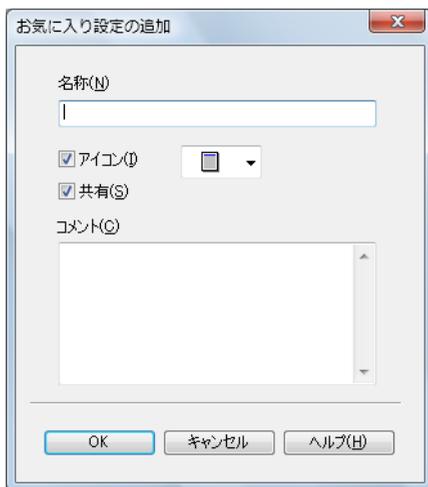
項目	説明
［ページ割付］	1 枚の用紙に複数ページを縮小して印刷する場合に、割付け方法を選択します。 ［ページ割付詳細］をクリックすると、以下の割付け設定ができます。 ■ ［ページ割付］：割付け方法を選択します。 ■ ［順序］：ページ配置の順序を選択します。 ■ ［境界］：ページ間に境界線を設定します。

1 つのジョブにサイズや方向が異なるページが含まれている場合は、画像が欠けたり、画像が重なったりする場合があります。

[装置情報] タブの設定

項目	説明
[装置オプション]	本機のオプションの装着状況と認証設定が表示されます。 [設定値の変更]：本機の情報を取得できない場合に、手動で設定を変更します。
[装置情報取得]	本機と通信して［装置オプション］の情報を取得します。
[取得設定]	[装置オプション］情報の取得方法を設定します。 [自動取得]：本機から自動取得します。 [取得先設定]：[印刷するポートに接続されている装置］または［IP アドレスまたはプリンター名を指定］から取得先の情報を設定します。

本機から［装置オプション］の情報を取得する場合は、本機とコンピューターが通信可能な状態で使用してください。

［初期設定］タブの設定

項目	説明
［禁則発生時に確認メッセージを表示する］	ドライバーの設定を変更した結果、他の設定とのあいだで禁則が発生したとき、設定を変更するかどうかの確認メッセージを表示させるかどうかを選択します。
［印刷前に認証設定を検証する］	印刷前に［ユーザー認証 / 部門管理設定］画面で設定した認証情報の検証を行うかどうかを選択します。
［印刷時に認証設定の入力画面を表示する］	印刷前に［ユーザー認証 / 部門管理設定］画面を表示するかどうかを選択します。
［FAX 番号を直接入力する際に再確認をする］	［FAX 送信ポップアップ］画面で、ファクス番号を直接入力して送付先一覧に追加したときに、ファクス番号を再入力させるかどうかを選択します。

ドライバー設定を登録して再利用する

ファクスドライバーの印刷設定画面で設定した内容を、お気に入りに登録しておくことができます。

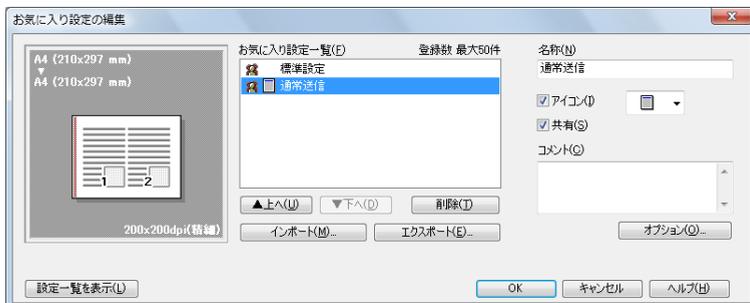
登録した設定内容は、[お気に入り] ドロップダウンリストから呼び出すことができます。

ドライバー設定の登録

ドライバーの設定を変更したあと、[お気に入り] の [追加] をクリックして以下の内容を設定します。

項目	説明
[名称]	ドライバー設定の名称を入力します（30 文字以内）。
[アイコン]	ドライバー設定に割り当てるアイコンを選択します。
[共有]	ドライバー設定を他のユーザーと共有するかどうかを選択します。 共有設定は 30 件まで、プライベート設定は 20 件まで登録できます。管理者のみ設定可能です。
[コメント]	ドライバー設定についての補足情報を入力します（255 文字以内）。

ドライバー設定の編集

お気に入りに登録されているドライバー設定を編集したい場合は、[お気に入り] の [編集] をクリックします。編集したいドライバー設定を選択し、登録内容を編集します。

[オプション] をクリックすると、呼び出す設定項目を選択できます。

ドライバー設定の設定内容を変更することはできません。設定内容を変更したい場合は、新しくドライバー設定をお気に入りに登録してください。

[エクスポート] をクリックすると、選択されているドライバー設定をファイル（拡張子：KSF）として保存できます。[インポート] をクリックすると、設定ファイルをドライバーに読み込むことができます。同じドライバー設定を別のコンピューターでも利用したい場合に便利です。

電話帳を利用する

頻繁に送信する送付先の個人情報は電話帳にあらかじめ登録しておくことで、送信時に入力する手間を省くことができます。

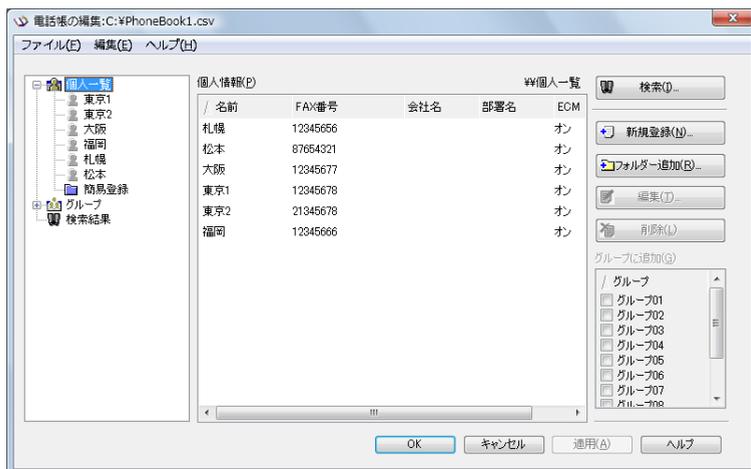
電話帳の登録内容は電話帳ファイル（CSV 形式）として管理されます。

電話帳に登録する

はじめて電話帳を利用する場合は、電話帳に送付先の個人情報を登録し、電話帳ファイルを新規作成します。

電話帳の利用が 2 回目以降の場合は、前回利用していた電話帳ファイルが開きます。電話帳の登録内容を変更した場合は、変更内容が電話帳ファイルに上書きされます。

1 ［FAX］タブの［電話帳の編集］をクリックします。
［電話帳の編集］画面が表示されます。

2 電話帳左側のリストから［個人一覧］を選択し、［新規登録］をクリックします。

3 送付先の個人情報を指定します。

– カバーシートに名前を記載する場合、敬称は付加されません。敬称を付加したい場合は、敬称を付けて名前を登録してください。

– ［名前］、［会社名］、［部署名］：各 80 文字まで入力できます。

– ［FAX 番号］：0 ～ 9 までの数字と、ハイフン（-）、#、*、P、T が半角 38 桁まで入力できます。海外へ送信する場合は、はじめに国番号を入力してください。

– ［ECM］：ECM モードを解除して送信するかどうかを設定します。［V.34］がオンの場合は、ECM モードをオフにできません。

– ［V.34］：V.34 モードを解除して送信するかどうかを設定します。スーパー G3 ファクス通信ができない場合にオフにします。

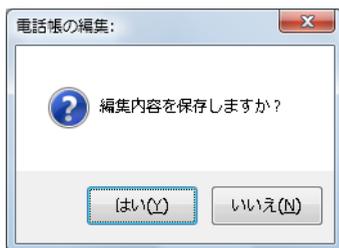
4 送付先をグループに追加する場合は、追加するグループを選択します。

– 決まったメンバーに同報送信することがある場合は、グループに追加しておくと便利です。1 つのグループに 100 件まで送付先を追加できます。

– 1 つの送付先を複数のグループに追加できます。

5 ［OK］をクリックします。
送付先の個人情報が電話帳に登録されます。

6 ［OK］をクリックします。
電話帳への登録を終了します。電話帳を新規作成している場合は、手順 7 へ進みます。

7 ［はい］をクリックします。

8 保存場所とファイル名を指定し、［保存］をクリックします。
電話帳の登録内容が電話帳ファイル（CSV 形式）として保存されます。

別の電話帳ファイルを利用したい場合は、メニューバーの［ファイル］－［開く］から、利用したい電話帳ファイルを開いてください。

電話帳ファイルを新規作成したい場合は、メニューバーの［ファイル］－［新規］から、電話帳ファイルを新しく作成してください。

電話帳ファイルを別名保存したい場合は、メニューバーの［ファイル］－［名前を付けて保存］から、電話帳ファイルを保存してください。

［FAX 送信ポップアップ］画面の［電話帳へ登録］から登録した送付先の個人情報は、電話帳の［簡易登録］フォルダーへ登録されます。必要に応じて、［簡易登録］フォルダーから別フォルダーへドラッグして移動してください。

電話帳を編集する

登録されている送付先の個人情報を編集したり、グループ名を変更したりできます。

送付先の個人情報を編集する

■ 送付先の個人情報を編集したい場合は、電話帳左側の［個人一覧］から編集したい送付先を選択し、［編集］をクリックします。登録時と同じ［個人情報￥￥個人一覧］画面で、送付先の個人情報を編集します。

■ 送付先の個人情報を削除したい場合は、電話帳左側の［個人一覧］から削除したい送付先を選択し、［削除］をクリックします。このとき、登録されているグループからも削除されます。

［FAX 送信ポップアップ］画面の［電話帳へ登録］から［簡易登録］フォルダーへ登録された送付先の個人情報も同様に編集できます。

送付先の所属グループを変更する

電話帳左側の［個人一覧］からグループ変更したい送付先を選択し、グループ一覧のチェックを変更します。

1 つのグループに 100 件まで送付先を追加できます。

グループ名を変更する

電話帳左側の［グループ］から名前を変更したいグループを選択して［編集］をクリックし、グループ名を変更します。

フォルダーを作成する

電話帳左側の［個人一覧］を選択して［フォルダー追加］をクリックし、フォルダーを作成します。

- 作成したフォルダーへ送付先をドラッグして移動できます。
- フォルダー名を変更したい場合は、名前を変更したいフォルダーを選択して［編集］をクリックします。
- フォルダーを削除したい場合は、削除したいフォルダーを選択して［削除］をクリックします。

送付先の個人情報を検索する

［検索］をクリックし、検索条件を指定して送付先の個人情報を検索します。

PC ファクスを受信する

PC ファクスを受信すると、受信文書（TIFF 形式）が本機のメモリーに自動的に保存されます。メモリーへの保存と同時に、本機で受信文書を印刷することもできます。

［管理者設定］－［ファクス設定］で以下の設定をしてください。

- ［PC-Fax 受信設定］－［使用設定］：［する］
- ［PC-Fax 受信設定］－［PC-Fax 受信後印刷］：受信文書をメモリーに保存すると同時に印刷するかどうか

設定内容の詳細は、「［PC-Fax 受信設定］」（p.66）をごらんください。

この機能は、強制メモリ受信機能、転送ファクス機能、夜間受信機能とは同時に使用できません。

メモリーに保存された文書を印刷する

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。

2 ［拡張］を押します。

3 ［強制メモリ受信］を押します。

4 パスワードを入力し、［OK］を押します。
本機のメモリーに保存されている文書の一覧が表示されます。

5 印刷したい文書を選択し、［印刷］を押します。
– 文書を削除したい場合は、削除したい文書を選択して［削除］を押します。

選択した文書が印刷されます。

印刷された文書はメモリーから消去されます。

［管理者設定］－［ファクス設定］－［強制メモリ受信］－［パスワード］で設定されているパスワードが、メモリーのパスワードとして適用されます。

メモリーに保存された文書を PageScope Web Connection から利用することもできます。詳しくは、［リファレンスガイド］をごらんください。

ファクスドライバーをアンインストールする

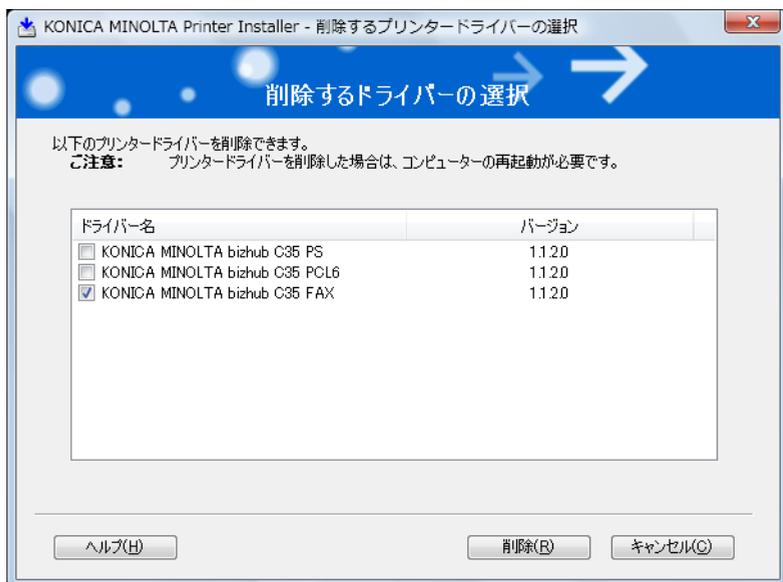
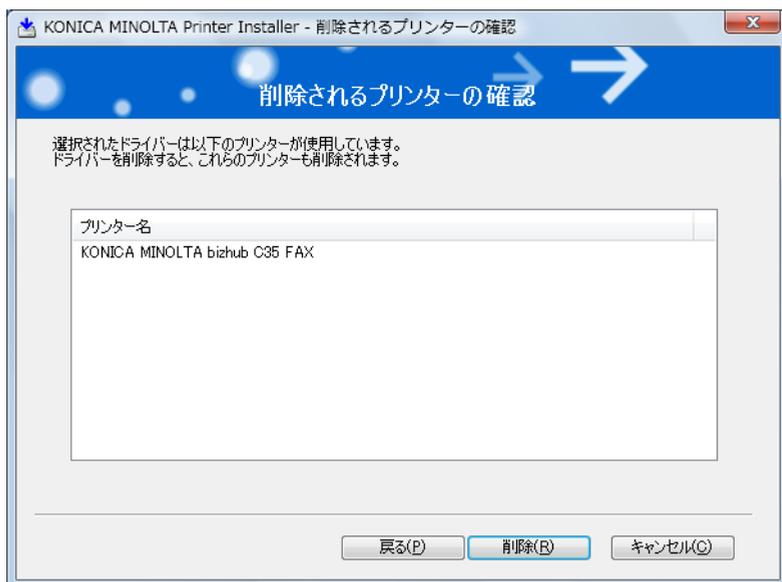
ファクスドライバーをアンインストールする手順について説明します。

アンインストールを行う場合は必ず管理者権限で行ってください。

Windows Vista/7/Server 2008/Server 2008 R2 でアンインストール中、ユーザーアカウント制御に関する画面が表示される場合は、［許可］または［続行］をクリックしてください。

1 開いているアプリケーションをすべて閉じます。

2 ［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［KONICA MINOLTA］－［bizhub C35］－［プリンタードライバーの削除］をクリックします。

3 ［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］チェックボックスをチェックして、［削除］をクリックします。

4 ［削除］をクリックします。

5 ［OK］をクリックし、コンピューターを再起動します。

ファクスドライバーがコンピューターからアンインストールされます。

宛先を登録する

宛先の種類について

頻繁に送信する相手先の情報は本機にあらかじめ登録しておくことで、送信時に入力する手間を省くことができます。宛先には以下の種類があります。

短縮宛先

頻繁に送信する相手先の情報（ファクス宛先、インターネットファクス宛先など）を登録できます。短縮宛先は 2000 件まで登録できます。

短縮宛先の登録のしかたについて詳しくは、「短縮宛先を登録する」（p.155）をごらんください。

グループ宛先

複数の短縮宛先を 1 つのグループにまとめて登録できます。グループ宛先は 100 件（1 グループに短縮宛先を最大 500 件）まで登録できます。

複数の相手先に同じファクスを同報送信する場合などに便利です。

グループ宛先の登録は PageScope Web Connection から行います。詳しくは、［リファレンスガイド］をごらんください。

プログラム宛先

宛先情報（短縮宛先、グループ宛先）とファクスの送受信に関する設定を組み合わせて登録できます。プログラム宛先は 400 件まで登録できます。

操作パネルの［プログラム］キーを押すだけで、宛先と設定を呼び出して送信できます。

プログラム宛先の登録のしかたについては、「プログラム宛先を登録する」（p.158）をごらんください。

短縮宛先を登録する

短縮宛先の登録方法を説明します。

短縮宛先の登録方法には、操作パネルから登録する方法と PageScope Web Connection から登録する方法があります。ここでは、操作パネルから登録する方法を説明します。

PageScope Web Connection から登録する方法については、［リファレンスガイド］をごらんください。

［管理者設定］－［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［登録宛先変更］が［禁止］に設定されている場合は、操作パネルから登録することはできません。また、PageScope Web Connection のユーザーモードから登録することはできません。

短縮宛先を登録する（G3 ファクス）

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。
2 ［宛先登録］を押します。
3 ［ファクス］を押します。
4 ［新規］を押します。
   – 登録済みの短縮宛先を選択して［詳細］を押すと、登録内容を確認できます。詳細画面で［削除］を押すと、選択している短縮宛先を削除できます。

5 相手先の情報を入力し、[OK] を押します。

項目	説明
[名前]	短縮宛先の登録名を入力します(半角 72 文字以内)。
[ファクス番号]	相手先のファクス番号を入力します。 [トーン]:ダイアル回線でプッシュ信号を発信したいときに押します。画面には [T] と表示されます。 [ポーズ]:ダイアルに間をあけたいときに押します。画面には [P] と表示されます。 [-]:ダイアルするときの区切り記号として入力します。ダイアルには影響がありません。 [外線]:外線番号をダイアルしたいときに押します。画面には [E] と表示され、登録されている外線番号がダイアルされます。外線番号については、「[PBX 接続設定]」(p.67) をごらんください。 宛先 2 度入力機能が有効の場合は、[OK] を押したあとにファクス番号を繰り返し入力します。
[常用]	頻繁に使用する宛先の場合は、[する] に設定します。[常用] に表示されるため、検索性が向上します。
[検索文字]	宛先を検索するときに使用する検索文字を選択します。
[回線設定]	G3 ファクスの通信回線の設定をします。
[ECM OFF]	ECM モードを解除して通信するかどうかを設定します。 ECM モードとは、ITU-T(国際電気通信連合)によって定められた誤り再送方式の通信です。 ECM モードが有効の場合、データが相手に正しく送られたかどうかを確認しながら通信が行われます。通信時間を短縮したい場合に、ECM モードを解除します。

項目		説明
	[V34 OFF]	V.34 モードを解除して通信するかどうかを設定します。 V.34 モードとは、スーパー G3 ファクスの通信方式です。 正常にスーパー G3 ファクス通信ができない場合は、V.34 モードを解除して通信することをおすすめします。
	[宛先確認送信]	宛先確認送信機能を使用するかどうかを設定します。 指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較し、一致した場合だけ送信されます。 この機能を使用するためには、相手先に自局のファクス番号が登録されている必要があります。

6 ［OK］を押します。

短縮宛先を登録する（インターネットファクス）

インターネットファクスの短縮宛先は、PageScope Web Connection でのみ登録できます。

登録方法については、［リファレンスガイド］をごらんください。

プログラム宛先を登録する

ファクス機能のプログラム宛先の登録方法を説明します。

プログラム宛先の登録方法には、操作パネルから登録する方法とPageScope Web Connection から登録する方法があります。ここでは、操作パネルから登録する方法を説明します。

PageScope Web Connection から登録する方法については、［リファレンスガイド］をごらんください。

1 ホーム画面の［ファクス］または操作パネルの［ファクス］キーを押し、ファクスモードの初期画面を表示します。

2 ［設定］を押し、各項目を設定します。
- ［読込み設定］については、「読込み条件を設定する」（p.83）をごらんください。
- ［通信設定］については、「通信回線の設定をする（G3 ファクス）」（p.86）、「送信機能の設定をする（G3 ファクス）」（p.87）、「E-mail情報を設定する（インターネットファクス）」をごらんください。
- ［原稿設定］については、「送信原稿の設定をする」（p.90）をごらんください。

3 操作パネルの［プログラム］キーを押します。

4 ［登録］を押します。

5 ［名前］を押し、プログラム宛先の名前を入力します。

6 ［宛先］を登録宛先から指定します。
- を押します。短縮宛先またはグループ宛先を指定して、［OK］を押します。

7 ［OK］を押します。

通信管理

送受信ジョブを確認する

送受信ジョブの状況や通信履歴をジョブ画面から確認できます。

ホーム画面の［ジョブ］を押すと、ジョブ画面が表示されます。

ジョブ画面については、［プリンター/ コピー/ スキャナー ユーザーズガイド］をごらんください。

実行中のジョブを確認する

ホーム画面の［ジョブ］を押すと、実行中のジョブ画面が表示されます。

履歴画面を表示している場合は［実行中］を押すと、実行中のジョブ画面が表示されます。

送信ジョブ

- 実行中のジョブ画面の［送信］を押すと、待機中の送信ジョブの状況を確認できます。
- 待機中の送信ジョブを選択して［削除］を押すと、ジョブが削除され、送信が中止されます。

受信ジョブ

- 実行中のジョブ画面の［受信］を押すと、待機中の受信ジョブの状況を確認できます。
- 待機中の受信ジョブを選択して［削除］を押すと、ジョブが削除され、受信が中止されます。

ジョブ履歴を確認する

実行中のジョブ画面の［履歴］を押すと、履歴画面が表示されます。

送信ジョブ

- 履歴画面の［送信］を押すと、本機の送信履歴を確認できます。
- 送信ジョブを選択して［詳細］を押すと、ジョブごとに宛先や送信結果などを確認できます。

［管理者設定］－［セキュリティ設定］－［セキュリティ詳細］－［個人情報非表示］が［する］に設定されている場合は、宛先は表示されません。

受信ジョブ

- 履歴画面の［受信］を押すと、本機の受信履歴を確認できます。
- 受信ジョブを選択して［詳細］を押すと、ジョブごとに受信日時や受信結果などを確認できます。

ファクスレポート／リストを印刷する

本機で印刷できるファクス関連レポートとリストの説明をします。

ファクスレポート／リストの種類

レポートの種類

本機では以下のファクス関連レポートを印刷できます。

レポート名	説明
通信管理レポート	送受信の履歴が記載されたレポートです。 100 件までの通信履歴を確認できます。送信履歴と受信履歴が別々に印刷されます。 詳しくは、「通信管理レポート」（p.165）ごらんください。
送信結果レポート	ファクスの送信結果が記載されたレポートです。 工場出荷時の設定では、ファクスを送信したあとに自動的に印刷されます。 詳しくは、「送信結果レポート」（p.166）をごらんください。
送信予約レポート（G3 ファクスのみ）	タイマー送信機能によってファクス送信を予約したときの予約内容が記載されたレポートです。 工場出荷時の設定では、ファクス送信を予約したあとに自動的に印刷されます。 詳しくは、「送信予約レポート」（p.167）をごらんください。
同報送信結果レポート	同報送信の送信結果が記載されたレポートです。 工場出荷時の設定では、同報送信したあとに自動的に印刷されます。 詳しくは、「同報送信結果レポート」（p.168）をごらんください。

レポート名	説明
同報送信予約レポート（G3 ファクスのみ）	タイマー送信機能によって同報送信を予約したときの予約内容が記載されたレポートです。 工場出荷時の設定では、同報送信を予約したあとに自動的に印刷されます。 詳しくは、「同報送信予約レポート」（p.169）をごらんください。
PC-Fax 送信エラーレポート	PC ファクス送信の失敗の原因が記載されたレポートです。 工場出荷時の設定では、PC ファクスの送信に失敗したときに自動的に印刷されます。 詳しくは、「PC-Fax 送信エラーレポート」（p.170）をごらんください。
I-Fax 受信エラーレポート	インターネットファクス受信の失敗の原因が記載されたレポートです。 工場出荷時の設定では、インターネットファクスの受信に失敗したときに自動的に印刷されます。 詳しくは、「I-Fax 受信エラーレポート」（p.171）をごらんください。

リストの種類

本機では以下のファクス関連リストを印刷できます。

リスト名	説明
短縮宛先リスト	短縮宛先の登録内容が記載されたリストです。 詳しくは「短縮宛先リスト／グループ宛先リスト／プログラム宛先リスト」（p.172）をごらんください。
グループ宛先リスト	グループ宛先の登録内容が記載されたリストです。 詳しくは、「短縮宛先リスト／グループ宛先リスト／プログラム宛先リスト」（p.172）をごらんください。

リスト名	説明
プログラム宛先リスト	プログラム宛先の登録内容が記載されたリストです。 詳しくは、「短縮宛先リスト／グループ宛先リスト／プログラム宛先リスト」（p.172）をごらんください。
ファクス設定リスト	現在のファクス関連の設定値が記載されたリストです。 詳しくは、「ファクス設定リスト」（p.172）をごらんください。

通信管理レポート

送受信の履歴が記載されたレポートです。

100 件までの通信履歴を確認できます。送信履歴と受信履歴が別々に印刷されます。

［管理者設定］－［ファクス設定］－［ファクスレポート］－［通信管理レポート］で、通信管理レポートの印刷条件を設定できます。

設定内容の詳細は、「［ファクスレポート］」（p.68）をごらんください。

レポート内容

項目	説明
番号	通信番号が記載されます。
宛先	相手先の登録名やファクス番号が記載されます。
通信開始時刻	通信の開始時刻が記載されます。
時間	通信の所要時間が記載されます。
枚数	原稿枚数が記載されます。
結果	通信結果が記載されます。 内容については、レポートの欄外を参照してください。
備考	通信についての参考情報が記載されます。 内容については、レポートの欄外を参照してください。

送信結果レポート

ファクスの送信結果が記載されたレポートです。

工場出荷時の設定では、ファクスを送信したあとに自動的に印刷されます。

［管理者設定］－［ファクス設定］－［ファクスレポート］で以下の設定ができます。

- ［送信結果レポート］：送信結果レポートの印刷条件
- ［送信結果レポート画像付き］：送信原稿の 1 ページの縮小画像をレポートに印刷するかどうか
- ［送信結果レポート画面］：送信結果レポートを印刷するかどうかの確認画面を表示させるかどうか

設定内容の詳細は、「［ファクスレポート］」（p.68）をごらんください。

レポート内容

項目	説明
宛先	相手先の登録名やファクス番号が記載されます。
通信開始時刻	送信の開始時刻が記載されます。
時間	送信の所要時間が記載されます。
枚数	原稿枚数が記載されます。
結果	送信結果が記載されます。 内容については、レポートの欄外を参照してください。
備考	送信についての参考情報が記載されます。 内容については、レポートの欄外を参照してください。

送信予約レポート

タイマー送信機能によってファクス送信を予約したときの予約内容が記載されたレポートです。

工場出荷時の設定では、ファクス送信を予約したあとに自動的に印刷されます。

送信予約レポートを印刷しない場合は、[管理者設定] − [ファクス設定] − [ファクスレポート] − [予約レポート] を [しない] に設定してください。

レポート内容

項目	説明
宛先	相手先の登録名やファクス番号が記載されます。
作成時間	送信予約した時刻が記載されます。
通信開始時刻	送信の開始時刻が記載されます。
枚数	原稿枚数が記載されます。
備考	送信についての参考情報が記載されます。 内容については、レポートの欄外を参照してください。

同報送信結果レポート

同報送信の送信結果が記載されたレポートです。

工場出荷時の設定では、同報送信したあとに自動的に印刷されます。

［管理者設定］－［ファクス設定］－［ファクスレポート］で以下の設定ができます。

- ［同報送信結果レポート］: 同報送信結果レポートを印刷するかどうか
- ［同報結果レポート出力］: 同報送信結果レポートの印刷条件
- ［送信結果レポート画像付き］: 送信原稿の 1 ページの縮小画像をレポートに印刷するかどうか
- ［送信結果レポート画面］: 送信結果レポートを印刷するかどうかの確認画面を表示させるかどうか

設定内容の詳細は、「［ファクスレポート］」（p.68）をごらんください。

レポート内容

項目	説明
宛先	相手先の登録名やファクス番号が記載されます。
通信開始時刻	送信の開始時刻が記載されます。
時間	送信の所要時間が記載されます。
枚数	原稿枚数が記載されます。
結果	送信結果が記載されます。 内容については、レポートの欄外を参照してください。
備考	送信についての参考情報が記載されます。 内容については、レポートの欄外を参照してください。

同報送信予約レポート

タイマー送信機能によって同報送信を予約したときの予約内容が記載されたレポートです。

工場出荷時の設定では、同報送信を予約したあとに自動的に印刷されます。

同報送信予約レポートを印刷しない場合は、［管理者設定］－［ファクス設定］－［ファクスレポート］－［予約レポート］を［しない］に設定してください。

レポート内容

項目	説明
宛先	相手先の登録名やファクス番号が記載されます。
作成時間	送信予約した時刻が記載されます。
通信開始時刻	送信の開始時刻が記載されます。
枚数	原稿枚数が記載されます。
備考	送信についての参考情報が記載されます。 内容については、レポートの欄外を参照してください。

PC-Fax 送信エラーレポート

PC ファクス送信の失敗の原因が記載されたレポートです。

工場出荷時の設定では、PC ファクスの送信に失敗したときに自動的に印刷されます。

PC-Fax 送信エラーレポートを印刷しない場合は、[管理者設定] – [ファクス設定] – [ファクスレポート] – [PC-Fax 送信エラーレポート] を [しない] に設定してください。

レポート内容

項目	説明
宛先	相手先の登録名やファクス番号が記載されます。
作成時間	コンピューターから送信した時刻が記載されます。
通信開始時刻	本機からの送信の開始時刻が記載されます。
要因	送信失敗の原因が記載されます。
名前	ファクスドライバーで設定されているユーザー名が記載されます。

I-Fax 受信エラーレポート

インターネットファクス受信の失敗の原因が記載されたレポートです。

工場出荷時の設定では、インターネットファクスの受信に失敗したときに自動的に印刷されます。

I-Fax 受信エラーレポートを印刷しない場合は、［管理者設定］－［ファクス設定］－［ファクスレポート］－［I-Fax 受信エラーレポート］を［しない］に設定してください。

レポート内容

項目	説明
送信元	差出人の E-mail アドレスが記載されます。
受信日時	受信した日時が記載されます。
要因	受信失敗の原因が記載されます。
件名	E-mail の件名が記載されます。

短縮宛先リスト／グループ宛先リスト／プログラム宛先リスト

宛先の登録内容が記載されたリストです。宛先リストの印刷のしかたを説明します。

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。
2 ［管理者設定］を押します。
3 管理者パスワード（初期値：12345678）を入力し、［OK］を押します。
4 ［宛先登録］を押します。
5 ［アドレス帳］を押します。
6 印刷する宛先を選択します。
   – 短縮宛先リストを印刷する場合は［短縮宛先］を押し、手順 7 へ進みます。
   – グループ宛先リストを印刷する場合は［グループ宛先］を押し、手順 8 へ進みます。
   – プログラム宛先リストを印刷する場合は［プログラム宛先］を押し、手順 7 へ進みます。
7 印刷する宛先の種別を選択します。
8 印刷する宛先件数を限定する場合は、［開始番号］と［宛先件数］を指定します。
   – ［開始番号］：リストに印刷する最初の宛先の登録番号を指定します。
   – ［宛先件数］：リストに印刷する宛先の件数を指定します。［開始番号］で指定した登録番号から指定した件数分の宛先が印刷されます。
9 ［リスト出力］を押します。
10 ［印刷］を選択して［OK］を押します。
宛先リストが印刷されます。

ファクス設定リスト

現在のファクス関連の設定値が記載されたリストです。

ファクス設定リストの印刷については、「［リスト印刷］」（p.70）をごらんください。

9 トラブル シューティング

送信時のトラブル

正常に送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

G3 ファクス

症状	原因	処置のしかた
原稿が読込まれない	原稿が厚すぎるか、薄すぎませんか？	原稿ガラスを使って読込んでください。
原稿が斜めに読込まれる	ADF のガイド板が原稿の幅に合っていますか？	ADF のガイド板を原稿の幅に合わせてください。
相手先の受信文書が不鮮明になる	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を正しくセットしてください。
	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを清掃してください。
	原稿の文字が薄くないですか？	原稿を読み込むときの濃度を濃く設定してください。
	電話線が正しく接続されていますか？	電話線の接続を確認し、もう一度送信しなおしてください。
	相手先の状態に問題はありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認してください。コピー画像が鮮明なときは、相手先の状態を確認してください。
相手先の受信文書が白紙で印刷される	原稿のセット方向が間違っていませんか？	ADF 使用時は読込む面を上に、原稿ガラス使用時は読込む面を下にして原稿をセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
送信できない	送信手順は正しいですか？	送信手順を確認し、もう一度送信しなおしてください。
	指定した相手先のファクス番号が間違っていませんか？	相手先のファクス番号に誤りがないか確認してください。
	短縮宛先、グループ宛先、プログラム宛先が正しく登録されていますか？	登録されている宛先情報に誤りがないか確認してください。
	電話線が正しく接続されていますか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	相手先の状態（用紙切れ、電源オフなど）に問題はありませんか？	相手先の状態に問題がないか確認してください。
	本機の通信設定が正しく設定されていますか？	通信設定が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、「[通信設定]」（p.58）をごらんください。
	パスワード送信時に入力したパスワードが間違っていませんか？	相手先に設定されている閉域受信パスワードを確認し、正しいパスワードでもう一度送信しなおしてください。
	F コード送信時に入力した F コードが間違っていませんか？	相手先のボックスの F コードを確認し、正しい F コードでもう一度送信してください。
	宛先確認送信の場合、相手先にファクス番号情報（CSI）が正しく登録されていますか？	相手先にファクス番号情報（CSI）が正しく登録されているか確認してください。

インターネットファクス

症状	原因	処置のしかた
送信できない	インターネットファクスの初期設定が正しく設定されていますか？	インターネットファクスの初期設定が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、「インターネットファクスの初期設定」（p.35）をごらんください。
	指定した相手先の E-mail アドレスが間違っていませんか？	相手先の E-mail アドレスに誤りがないか確認してください。
	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。

PC ファクス

症状	原因	処置のしかた
コンピューターの画面に「プリンターが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される	送信時に指定している機種は正しいですか？	指定している機種名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたは USB ケーブルが正しく接続されていますか？	ケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	本機でエラーが発生していませんか？	本機の操作パネルを確認してください。
	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	テスト送信できるか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
コンピューター側の印刷処理は終了したが、送信が開始されない	送信時に指定している機種は正しいですか？	指定している機種名を確認してください。
	ネットワークケーブルまたは USB ケーブルが正しく接続されていますか？	ケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	本機でエラーが発生していませんか？	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっていませんか？	本機のジョブ画面からジョブの順番を確認してください。
	部門認証が設定されている場合、本機に未登録の部門を指定していませんか？	ファクスドライバーで、部門名とパスワードを正しく指定してください。
	ユーザー認証が設定されている場合、本機に未登録のユーザーを指定していませんか？	ファクスドライバーで、ユーザー名とパスワードを正しく指定してください。
	コンピューターのメモリーが不足していませんか？	テスト送信できるか確認してください。
	ネットワーク接続で使用する場合、本機とのネットワーク接続が確立していますか？	詳しくは、管理者にご相談ください。
	本機でセキュリティー強化モードが有効になっていませんか？	セキュリティー強化モードの認証を行ってください。 詳しくは、管理者にご相談ください。

受信時のトラブル

正常に受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

G3 ファクス

症状	原因	処置のしかた
受信文書が白紙で印刷される	相手先の状態に問題はありませんか？	本機でコピーをとって本機の問題でないことを確認してください。コピー画像が鮮明なときは、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。
	原稿を裏表逆にセットしていませんか？	原稿を正しくセットしているか相手先に確認してください。
自動受信しない	手動受信に設定されていませんか？	受信方式を正しく設定してください。 詳しくは、「G3 ファクスを受信する」（p.100）をごらんください。
	本機のメモリーが不足していませんか？	メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
	電話線は正しく接続されていますか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	相手先の状態に問題はありませんか？	本機の問題でないことを確認し、相手先にもう一度送信しなおしてもらってください。

症状	原因	処置のしかた
	閉域受信パスワードを設定している場合、相手先で入力されたパスワードが間違っていませんか？	相手先に正しいパスワードを伝え、正しいパスワードで送信しなおしてもらってください。
	F コード通信の場合、相手先で入力された F コードが間違っていませんか？	相手先に正しい F コードを伝え、正しい F コードで送信しなおしてもらってください。
受信文書が印刷されない	PC ファクス受信機能が有効になっていませんか？	本機のメモリーから受信文書を印刷してください。
	強制メモリ受信機能が有効になっていませんか？	本機のメモリーから受信文書を印刷してください。
	夜間受信機能が有効になっていませんか？	夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。

インターネットファクス

症状	原因	処置のしかた
受信できない	インターネットファクスの初期設定が正しく設定されていますか？	インターネットファクスの初期設定が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、「インターネットファクスの初期設定」（p.35）をごらんください。
	ネットワークケーブルが正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	本機のメモリーが不足していませんか？	メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
受信文書が印刷されない	PC ファクス受信機能が有効になっていませんか？	本機のメモリーから受信文書を印刷してください。
	強制メモリ受信機能が有効になっていませんか？	本機のメモリーから受信文書を印刷してください。
	夜間受信機能が有効になっていませんか？	夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。

PC ファクス

症状	原因	処置のしかた
受信できない	PC ファクスの受信機能が無効になっていませんか？	PC ファクスの受信機能を有効にしてください。詳しくは、「[PC-Fax 受信設定]」（p.66）をごらんください。
	電話線は正しく接続されていますか？	電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	本機のメモリーが不足していませんか？	メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
	F コード通信の場合、相手先で入力された F コードが間違っていませんか？	相手先に正しい F コードを伝え、正しい F コードで送信しなおしてもらってください。

エラーメッセージ

本機にトラブルが発生した場合、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	処置のしかた
[オフフック]	手動送信後に受話器が上がったままになっています。	受話器を戻してください。
[メモリーフル（ファクス）]	本機のメモリーがいっぱいです。	送信時の場合は、読込み済みの原稿だけを送信するか、または手動で送信しなおしてください。 受信時の場合は、メモリーに保存されている文書を印刷するか、削除してください。
[ファクス送信できませんでした]	G3 ファクスの送信中にエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[ファクス受信できませんでした]	G3 ファクスの受信中にエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[PC-Fax 送信エラー]	PC ファクス送信データを本機で受信したときにエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[ポーリング受信エラー]	ポーリング受信に複数の宛先が指定されました。	複数の宛先を指定してポーリング受信することはできません。宛先は 1 件にしてください。
[PC-Fax 送信禁止]	本機で PC ファクスの送信が禁止されています。	PC ファクスの送信機能を有効にしてください。詳しくは、「[ファクス機能設定]」（p.63）をごらんください。

メッセージ	原因	処置のしかた
[I-FAX 送信できませんでした]	インターネットファクスの送信中にエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。
[I-FAX 受信できませんでした]	インターネットファクスの受信中にエラーが発生しました。	このエラーは自動的に解除されます。

付録

技術仕様

G3 ファクス

適応回線	加入電話回線（PSTN） PBX 回線
通信規格	ECM/Super G3
伝送速度	2.4 kbps 〜 33.6 kbps
伝送時間	3 秒 / ページ （A4、33.6 kbps、JBIG、V.34）
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
ファクスメモリー	256 MB （G3 ファクス、インターネットファクス送受信）
最大読込みサイズ	ADF：216 mm × 1000 mm 原稿ガラス：リーガル
最大記録サイズ	リーガル （ページ分割の設定に従って、長さ 1000 mm までの受信文書を印刷できます）
画像欠損	4.0 mm （先端、後端、奥側、手前側）
送受信解像度	標準：200 × 100 dpi (8 × 3.85 dot/mm) 精細：200 × 200 dpi (8 × 7.7 dot/mm) 高精細：400 × 400 dpi (16 × 15.4 dot/mm) 高精細（受信のみ）：200 × 400 dpi (8 × 15.4 dot/mm)

インターネットファクス

プロトコル	インターネットファクス（シンプルモード）、TCP/IP、SMTP、POP3
ファクスメモリー	256 MB （G3 ファクス、インターネットファクス送受信）
ファイル形式	モノクロ TIFF
符号化方式 （送信時）	TIFF-S (MH)
符号化方式 （受信時）	TIFF-S (MH)、TIFF-F (MH/MR/MMR)
送信解像度	標準：200 × 100 dpi 精細：200 × 200 dpi
受信解像度	200 × 100 dpi、204 × 98 dpi (80 × 38.5 dot/cm) 200 × 200 dpi、204 × 196 dpi (80 × 77 dot/cm) 300 × 300 dpi 200 × 400 dpi、204 × 391 dpi (80 × 154 dot/cm) 400 × 400 dpi、408 × 391 dpi (160 × 154 dot/cm)

PC ファクス

オペレーティングシステム	Windows 2000 Service Pack 4 Windows Server 2003 (32-bit/64-bit) Windows XP (32-bit/64-bit) Windows Vista (32-bit/64-bit) Windows Server 2008 (32-bit/64-bit) Windows Server 2008 R2 Windows 7 (32-bit/64-bit)
CPU	Pentium 3：400 MHz 以上 （Windows Vista：1 GHz 以上）
RAM	512 MB 以上
インターフェース	USB 接続（USB 2.0 (High Speed)） ネットワーク接続 （TCP/IP（RAW ポート、LPR））

その他の仕様については、［プリンター/ コピー/ スキャナー ユーザーズガイド］ をごらんください。

文字を入力するには

文字入力画面の操作のしかたを説明します。

文字入力のしかた

文字入力画面で入力したい文字を押してください。

- ↑ ：大文字の入力に切換えます。
- !#?/ ：記号の入力に切換えます。
- äü ：アクセント付き文字などの特殊文字の入力に切換えます。
- ［削除］：カーソルの直前にある文字を削除します。
- < > ：カーソルを移動します。

数字は操作パネルのテンキーから入力することもできます。

操作パネルの［C］キーを押すと、入力した文字をすべて削除できます。

索引

A

E

F

P

あ

い

え

お

か

き

く

け

し

せ

そ

た

つ

て

と

は

ふ

へ

ほ

も

や

ゆ

よ

り

れ